

注3

大学番号：私296

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

相愛大学 人文学部 人文学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 相愛学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名

電話番号 06-6612-5902

（夜間） 06-6612-5900

F A X 06-6612-2994

e-mail g-shitsu@soai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

<人文学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	40
別紙1.	43
別紙2.	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 相愛学園

(2) 大学名

相愛大学

(3) 大学の位置

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カネコ サトル) 金児 暁 嗣 (平成24年1月)		
学 長	(カネコ サトル) 金児 暁 嗣 (平成22年4月)		
学部長	(ヤマモト ユキオ) 山本 幸 男 (平成22年4月)	(マズダ ケイ) 益 田 圭 (平成27年4月)	前任者が平成27年3月31日をもって退職のため(27)
		(ハシモト ジュンイチロウ) 橋元 淳一郎 (平成26年4月)	平成26年3月31日をもって任期満了のため(26)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 人文学科 学士(人文学)	4	90	-	360	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	0.74倍 各項目とも、留学生の内数は、編入学での入学を含めて記載。 平成27年度の欄も同様に記載しなおしたため前年度報告から修正。 (28)	
志願者数	87 (-) [27]	- (-) [-]	96 (-) [35]	- (-) [-]	75 (26) [48]	- (-) [-]	120 (41) [112]	- (-) [-]		
受験者数	84 (-) [26]	- (-) [-]	93 (-) [35]	- (-) [-]	71 (26) [46]	- (-) [-]	113 (41) [111]	- (-) [-]		
合格者数	81 (-) [24]	- (-) [-]	90 (-) [32]	- (-) [-]	67 (23) [39]	- (-) [-]	92 (36) [76]	- (-) [-]		
B 入学者数	65 (-) [23]	- (-) [-]	69 (-) [28]	- (-) [-]	53 (21) [37]	- (-) [-]	83 (35) [76]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.72		0.76		0.58		0.92			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[23] (-) 65	[-] (-) -	[28] (-) 69	[-] (-) -	[16] (-) 53	[-] (-) -	[41] (-) 83	[-] (-) -	
2年次	/		[20] (-) 60	[-] (-) -	[24] (-) 64	[-] (-) -	[13] (-) 50	[-] (-) -	
3年次	/		/		[38] (-) 75	[-] (-) -	[55] (-) 91	[-] (-) -	
4年次	/		/		/		[37] (-) 72	[-] (-) -	
計	[23] (-) 65	[-] (-) -	[48] (-) 129	[-] (-) -	[78] (-) 192	[-] (-) -	[146] (-) 296	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<人文学部 人文学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目 基礎科目・共通科目（大学共通）												平成26年度入学生から科目区分を変更(26)	
	基本 理念 (I群)	建学の精神	1前・後	2			±	2 ±					兼5 専任教授から専任准教授に担当者変更(27)
		仏教思想と現代	2前・後	2			±						兼5 専任教授から兼任講師に担当者変更(26)
		科学と人間	2前		2								兼1 平成26年度入学生から科目を廃止(26)
		環境と人間	2前		2								兼1 平成26年度入学生から科目を廃止(26)
		生命と人間	2後		2								平成26年度入学生から科目を廃止(26) 履修希望者がいなかったため(26)
	地域	大学と地域社会	1前・後		2			1					専任教授を追加(26) 平成26年度入学生から科目を追加(26)
		大阪学入門	2前		2			1					兼2 専任教授を追加(27) 平成26年度入学生から科目を追加(26)
		まちづくり入門	2後		2								兼1 平成26年度入学生から科目を追加(26)
	キャリア	キャリアデザイン論	1前・後		2								兼1 平成26年度入学生より「共通科目①その他」 から移行(26)
		キャリアデザイン演習	2後		2								兼1 平成26年度入学生より「共通科目①その他」 から移行(26)
		インターンシップ実践 インターンシップ	3前 3前・後		2 ±								兼1 平成26年度入学生より科目の名称・開設時期 ・単位数を変更し、「共通科目①その他」 から移行(26)
	日本語 スキル (II群)	大学生のための日本語入門	1前・後		2								兼4
		文章表現 日本語表現法	2前・後		2								兼1 平成26年度入学生から科目の名称を変更(26)
													平成27年度入学生から科目区分を変更(27)
	人文系 共通科目①	世界の文学 文学と人生	1後 未開講 1前		2		±						兼1 通常開講(27) 平成27年度入学生から科目の名称を変更(27) 平成26年度は、未開講(26) 専任教授が退職したため削除(26)
		音楽の楽しみ	2後 2前		2								兼1 平成27年度入学生から科目を廃止(27) 開講時期適正化のため後期に変更(26)
		西洋美術史	2前		2		1						平成27年度入学生から科目を廃止(27)
西洋文化史		1前		2								平成27年度入学生から科目を廃止(27)	
美学		1後		2								平成27年度入学生から科目を廃止(27)	
日本歴史入門		1前		2								平成27年度入学生から科目を廃止(27)	
世界の歴史 世界歴史入門		1前 未開講 2後		2								兼1 通常開講(27) 平成27年度入学生から科目名称変更、1年次に開講(27) 平成26年度は、未開講(26)	
世界の地理 地理学入門(地誌を含む)		1後		2								兼1 平成27年度入学生から科目の名称を変更(27)	
倫理学入門		1前		2								兼1 平成27年度入学生から科目を廃止(27)	
世界の思想		2前		2								兼1 平成27年度入学生から科目を追加(27) (平成28年度開講)	
社会科学系		心理学入門	1前・後 1後		2								兼1 開講時期を前期と後期に変更(28)
		社会学概説	1後 1前 1後		2								平成27年度入学生から科目を廃止(27) 開講時期適正化のため後期に変更(26) 開講時期適正化のため前期に変更(25)
	社会と芸術	1前 1後		2		1						平成27年度入学生から科目を廃止(27) 開講時期適正化のため前期に変更(26)	
	経済学入門	2前 1前 1後 1前		2		1						平成27年度入学生から開講年次を変更(27) 開講時期適正化のため前期に変更(26) 開講時期適正化のため後期に変更(25)	
	経営学入門	2前		2								平成27年度入学生から科目を廃止(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基礎科目・共通科目(大学共通)	社会科学系	マーケティング入門	未開講 2後	2								平成27年度入学生から科目を廃止(27) 平成26年度は、未開講(26)	
		観光学入門	2前	2								平成27年度入学生から科目を廃止(27)	
		政治学入門	1前 1後 未開講 1後	2								平成27年度入学生から科目を廃止(27) 履修希望者がいなかったため(26) 開講時期適正化のため前期に変更(26) 通常開講(26) 平成25年度は未開講(25)	
		法学入門	1前	2								兼1	
		日本国憲法	1前・後 1後	2								平成27年度入学生から 「共通科目①応用」へ移行(27) 開講時期を前期と後期に変更(25)	
		教育原論	1前・後	2								兼1	
	自然科学系	生活の中の数学 数学入門	1前 2前 2後	2								兼1	平成27年度入学生から科目の名称、 開講年次を変更(27) 開講時期適正化のため前期に変更(26)
		地球と宇宙	1前 1後	2									平成27年度入学生から科目を廃止(27) 開講時期適正化のため前期に変更(25)
		物理学入門	1後	2									平成27年度入学生から科目を廃止(27)
		科学史入門	1前	2								兼1	
		化学入門	1後	2									平成27年度入学生から科目を廃止(27)
		生物学入門	2前 1前	2								兼1	平成27年度入学生から開講年次を変更(27)
		現代と医学	2後	2								兼1	
		看護介護入門	1後 未開講 1後	2									平成27年度入学生から科目を廃止(27) 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25)
	その他 応用	健康科学	2前・後 2前	2				1				兼1	開講時期を前期と後期に変更(26)
		健康とスポーツ実技 健康とスポーツ実習	1前・後	1								兼2	平成27年度入学生から科目の名称を変更(27)
		生涯健康とスポーツ実技 生涯健康とスポーツ実習	2前 2前 2前・後	1								兼1	通常開講(28) 平成27年度入学生から科目の名称を変更(27) 履修希望者がいなかったため(27) 開講時期を前期に変更(26)
		キャリアデザイン論	1前 1後	2									平成26年度入学生から「基礎科目キャリア」へ 移行(26) 開講時期適正化のため前期に変更(25)
		キャリアデザイン演習	2後	2									平成26年度入学生から「基礎科目キャリア」へ 移行(26)
		インターンシップ	3前・後	1									平成26年度入学生から「基礎科目キャリア」へ 移行(26)
		情報処理演習A 情報処理演習	1前・後	2				1				兼3	平成27年度入学生から科目の名称を変更(27) 履修希望者に合わせクラス数を削減(26) クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
		情報処理演習B	1後	2								兼3	平成27年度入学生から科目を追加(27)
		情報と社会	1前	2									平成27年度入学生から科目を廃止(27)
		生涯学習概論	1前	2								兼1	
		図書館概論	1前	2								兼1	平成27年度入学生から司書課程科目へ移行(27)
		ボランティア論	2前	2								兼1	
ボランティア体験		2後	1								兼1		
音楽実技		1後 1前・後	1									平成27年度入学生から科目を廃止(27) 開講時期適正化のため後期に変更(26)	
日本国憲法		1前・後	2								兼2	平成27年度入学生より「共通科目①社会科学系」から移行(27)	
教職入門 学校と教師		2前・後	2								兼1	平成27年度入学生から教職課程科目へ移行(27) 文部科学省教職員課の指導により科目名称変更(25)	
人権教育		2前 2前・後	2			1	1				兼1	開講時期適正化のため変更(27) 職位変更(26)	
異文化間教育論		2後	2								兼1	平成27年度入学生から教職課程科目へ移行(27)	
宗門法規	2前	2								兼1	平成27年度入学生から専門科目へ移行(27)		
布教法	2後	2								兼1	平成27年度入学生から専門科目へ移行(27)		
勤式作法	2前 2後	2								兼2	平成27年度入学生から専門科目へ移行(27) 開講時期適正化のため前期に変更(26)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目・共通科目(大学共通)	共通科目① その他 応用	TOEIC対策ⅠA	1前 1前	2							兼1 通常開講(28) 履修希望者がいなかったため(27) 平成27年度入学生から科目を追加(27)	
		TOEIC対策ⅠB	1後	2							兼1 平成27年度入学生から科目を追加(27)	
		TOEIC対策ⅡA	2前	2							兼1 履修希望者がいなかったため(28) 平成27年度入学生から科目を追加(27) (平成28年度開講)	
		TOEIC対策ⅡB	2後	2							兼1 平成27年度入学生から科目を追加(27) (平成28年度開講)	
		TOEIC対策ⅢA	2前	2							兼1 履修希望者がいなかったため(28) 平成27年度入学生から科目を追加(27) (平成28年度開講)	
		TOEIC対策ⅢB	2後	2							兼1 平成27年度入学生から科目を追加(27) (平成28年度開講)	
	共通科目②	語学関係Ⅰ	英会話Ⅰ	1前	2					±		兼6 専任講師から兼任講師に変更(28) 専任講師が就任したため(26)
			英会話Ⅱ	1後	2					±		兼6 専任講師から兼任講師に変更(28) 専任講師が就任したため(26)
			英会話Ⅲ	2前 未開講 2前	1 2							兼1 履修希望者がいなかったため(28) 平成27年度入学生から単位数を変更(27) 通常開講(27) 履修希望者がいなかったため(26)
			英会話Ⅳ	2後 未開講 2後	1 2							兼1 履修希望者がいなかったため(28) 平成27年度入学生から単位数を変更(27) 通常開講(27) 履修希望者がいなかったため(26)
			英語Ⅰ	1前	2							兼4
			英語Ⅱ	1後	2							兼4
			英語Ⅲ	2前 2前 2前	1 2							兼1 履修希望者がいなかったため(28) 通常開講(28) 平成27年度入学生から単位数を変更(27) 平成27年度は、未開講(27) 履修希望者がいなかったため(26)
			英語Ⅳ	2後 2後 2後	1 2							兼1 履修希望者がいなかったため(28) 通常開講(28) 平成27年度入学生から単位数を変更(27) 平成27年度は、未開講(27) 履修希望者がいなかったため(26)
			ドイツ語Ⅰ	1前	2							兼1
			ドイツ語Ⅱ	1後	2							兼1
		イタリア語Ⅰ	1前	2							兼1	
		イタリア語Ⅱ	1後	2							兼1	
		フランス語Ⅰ	1前	2							兼1	
		フランス語Ⅱ	1後	2							兼1	
		中国語Ⅰ	1前	2							兼1	
		中国語Ⅱ	1後	2							兼1	
		日本語会話A ※留学生対象科目	1前	2							兼2 平成27年度入学生から科目を追加(27)	
		日本語会話B ※留学生対象科目	1後	2							兼2 平成27年度入学生から科目を追加(27)	
		日本語A ※留学生対象科目	1前	2							兼2 平成27年度入学生から科目を追加(27)	
		日本語B ※留学生対象科目	1後	2							兼2 平成27年度入学生から科目を追加(27)	
語学関係Ⅱ	資格英語ⅠA	1前 1前	2							兼1 平成27年度入学生から科目を廃止(27) 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25)		
	資格英語ⅠB	1後 1後	2							兼1 平成27年度入学生から科目を廃止(27) 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25)		
	資格英語ⅡA	1前 1前	2					±		兼1 平成27年度入学生から科目を廃止(27) 専任准教授から兼任教授に担当者変更(27) 履修希望者がいなかったため(26) 兼任講師から専任准教授に担当者変更(26) 履修希望者がいなかったため(25)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目・共通科目(大学共通)	語学関係科目②	資格英語Ⅱ-B	1 後 1 後	2			1	1			兼1	平成27年度入学生から科目を廃止(27) 専任准教授から専任講師に担当者変更(27) 履修希望者がいなかったため(26) 兼任講師から専任准教授に担当者変更(26) 履修希望者がいなかったため(25)
		資格英語Ⅲ-A	2 前	2		1	1				兼1	平成27年度入学生から科目を廃止(27) 履修希望者がいなかったため(26) 専任准教授から専任教授に担当者変更(26)
		資格英語Ⅲ-B	2 後	2		1	1	1			兼1	平成27年度入学生から科目を廃止(27) 専任教授から専任講師に担当者変更(27) 履修希望者がいなかったため(26) 専任准教授から専任教授に担当者変更(26)
専門科目	ゼミナール科目	基礎演習 A	1 前	2		2 2	2 4 2 1					専任准教授2名を専任教授に変更(28) 専任准教授を追加(27) 専任教授の退職等による担当者の変更(26) クラス数増加に伴い担当者を追加(26)
		基礎演習 B	1 後	2		2 1	4 2 1 2					専任教授2名を専任准教授に変更(28) 専任教授を追加(27) クラス数増加に伴い担当者を追加(26) 専任准教授1名が就任辞退したため(25)
		専門基礎演習 A	2 前	2		1 2 1	2 1 2					専任教授1名を専任准教授に変更(28) 専任教授を追加(27) 専任准教授の昇任に伴う担当者の変更(26) 専任准教授1名が就任辞退したため(25)
		専門基礎演習 B	2 後	2		2 1 2	1 2 3 1					専任准教授1名を専任教授に変更(28) 専任准教授から専任教授へ変更(27) 専任教授の退職等に伴う担当者の変更(26)
		専門応用演習 A	3 前	2		7 8 6 7	2 3 4	1				専任教授1名を専任講師に変更(28) 専任教授を追加(27) 職位変更(27) 専任教授の退職等に伴う担当者の変更(26) 専任教授1名、専任准教授1名が就任辞退したため(25)
		専門応用演習 B	3 後	2		5 6 5 6	5 4 5					専任教授1名を専任准教授に変更(28) 専任教授を追加(27) 専任教授の退職等に伴う担当者の変更(26) 専任教授1名、専任准教授1名が就任辞退したため(25)
		専門研究演習	4 前	2		7 8 7 8 9	4 5 4	1				専任教授1名を専任講師に変更(28) 職位変更(27) 専任教授の退職等に伴う担当者の変更(26) 専任教授1名が就任辞退したため(25)
		卒業研究	4 後	2		7 8 7 8 9	4 5 4	1				専任教授1名を専任講師に変更(28) 職位変更(27) 専任教授の退職等に伴う担当者の変更(26) 専任教授1名が就任辞退したため(25)
入門科目	人文学概論	1 前	2		8 5 4 2	4 1 2	1				専任教員を追加(28) 職位変更(27) 専任教授を追加(26) 職位変更(26)	
	日本文化概論	1 前		2						兼1		
	日本史入門	1 前 1 後		2		1	1				開講時期を前期に変更(28) 兼任講師から専任教授に変更(27) 専任准教授1名が就任辞退したため担当者変更(25)	
	人間の心と行動	1 後 1 前		2						兼1	開講時期適正化のため後期に変更(25)	
	宗教学概論A	1 前		2			1					
	仏教学概論A	1 前		2						兼1		
	哲学概論	1 後		2							文部科学省教職員課の指導による区分変更(専門関連科目へ移動)(25)	
	現代社会論	1 後		2		1	1				職位変更(27)	
支援科目	主体的学習法	1 前	2			1	1				職位変更(26)	
	プレゼンテーション演習	1 後		2			1					
	グループワーキング演習	2 前	2				1					
	社会人基礎力形成演習	2 後	2			1					兼任教授から専任教授に担当者変更(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリア支援科目	社会人基礎力実践	3 後 3 前		2		6 ±	5 2 ±	1				専任教員を追加 (28) 専任教員が担当 (27) 開講時期適正化のため後期に変更 (27) 専任准教授1名が就任辞退したため担当者変更 (25)
	データ分析	3 後		2		1	±					職位変更(26)
	海外研修	1前 1後 未開講 1後 1前・後		2		± 2	±	1				専任准教授から専任講師に変更 (28) 専任教授が本人の都合により退職したため専任准教授が担当 (26) 開講時期適正化のため前期に変更 (26) 通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため (25) 開講時期を後期に変更 (25) 専任教授1名が就任辞退したため (25)
専 門 科 目	日本文学入門 1	1 前		2		1						
	日本文学入門 2	1 後		2								兼 1
	日本古典文学史	2 前		2		1						兼任教授から専任教授に担当者変更 (26)
	日本近代文学史	2 後		2		±	1					専任教授が本人の都合により退職したため専任准教授が担当 (26)
	国語学概論	1 後		2								兼 1
	国語史	2 前		2								兼 1 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成26年度開講 (25)
	言語学概論	1 前 1 後		2								兼 1 開講時期適正化のため前期に変更 (26)
	日本文学概論	1 後		2		1						
	日本文学講読 A	2 後 2 前		2			1					開講時期適正化のため後期に変更 (26) 専任准教授が担当 (26) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成26年度開講 (25)
	日本文学講読 B	2 前 2 後		2		1						開講時期適正化のため前期に変更 (26) 専任教授が担当 (26) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成26年度開講 (25)
	日本文学演習 A	3 前		2			1					専任准教授が担当 (27) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成27年度開講 (25)
	日本文学演習 B	3 後		2		1						専任教授が担当 (27) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成27年度開講 (25)
	漢文学講読 A	1 前		2								兼 1
	漢文学講読 B	1 前 1 後		2		1 ±						開講時期適正化のため前期に変更 (26) 専任教授が担当 (26) 専任教授1名が就任辞退したため担当者変更 (25)
	日本美術史	3 後		2								兼 1
	国語表現法	2 前		2								兼 1
	日本語プレゼンテーション	2 後 2 前		2								兼 1 開講時期適正化のため後期に変更 (26) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成26年度開講 (25)
	日本語教授法	3 前		2								兼 1 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成27年度開講 (25)
	漢文学	1 後		2								兼 1
	漢文学史 A	2 前		2								兼 1
	漢文学史 B	2 後		2								兼 1
	書道 A	3 前		1								兼 1
	書道 B	3 後		1								兼 1
国語学演習 A	3 前 未開講 3 前		2								兼 1 通常開講 (28) 平成27年度は未開講 (27)	
国語学演習 B	未開講 3 前 3 後		2								平成28年度は未開講 (28) 開講時期適正化のため前期に変更 (27)	
文学と芸能	1 後		2								兼 1 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成25年度開講 (25)	
日本文学と仏教	2 前 2 後		2								兼 1 開講時期適正化のため前期に変更 (26) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成26年度開講 (25)	
映像と文学	3 前		2			1					兼任講師から専任准教授に担当者変更 (26)	
浪速の文学	3 後		2								兼 1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 関 連 科 目	文化資料論 A (日本文学)	3 後		2		1							
	文化資料論 B (日本文学)	3 後		2		±	1					専任教員が本人の都合により退職したため専任教員が担当 (26)	
	日本文学研究法	3 前 未開講 3 後		2							兼 1	通常開講 (28) 開講時期を前期に変更 (28) 平成27年度は未開講 (27) 文部科学省教職員課の指導により新たに追加、平成27年度開講 (25)	
	日本文化特殊講義 (日本文学)	3 前 3 後		2		±	1					専任教員から専任教員に変更 (27) 開講時期適正化のため前期に変更 (27)	
	日本文化史 A	2 前		2		1							
	日本文化史 B	2 後		2		1							
	日中文化交流史	未開講 未開講 未開講 2 前		2		±							平成28年度は未開講 (28) 平成27年度は未開講 (27) 平成26年度は未開講 (26) 専任教員1名が就任辞退したため担当者変更 (25)
	日中比較文化論	2 後 2 後 未開講 2 後		2		±					兼 1	通常開講 (28) 履修希望者がいなかったため (27) 通常開講 (27) 平成26年度は未開講 (26) 専任教員1名が就任辞退したため担当者変更 (25)	
	日本の哲学 A	1 前		2							兼 1		
	日本の哲学 B	1 後		2							兼 1		
	日本思想史	未開講 3 後		2		±						平成28年度は未開講 (28) 専任教員1名が就任辞退したため担当者変更 (25)	
	文化資料論 A (歴史文化)	未開講 3 前		2		±						平成28年度は未開講 (28)	
	文化資料論 B (歴史文化)	3 前 未開講 3 後		2		1 ±						通常開講・専任教員が担当 (28) 開講時期を前期に変更 (28) 平成27年度は未開講 (27) 専任教員1名が就任辞退したため担当者変更 (25)	
	日本文化特殊講義 (歴史文化)	3 後		2		1							
	大阪文化入門 A	2 後 2 前		2							兼 1	開講時期適正化のため後期に変更 (26)	
	大阪文化入門 B	2 後		2		1							
	サブカルチャー入門 A	1 前		2			1					兼任講師から専任教員に変更 (27)	
	サブカルチャー入門 B	1 後		2			±				兼 1	兼任准教授から兼任講師に変更 (27)	
	中之島文化論	3 後 3 前		2		1						開講時期適正化のため後期に変更 (27)	
	現代大阪文化論	2 前		2							兼 1		
	大阪ビジネス論	2 後		2							兼 1		
	上方落語論	3 前 3 後		2							兼 1	開講時期適正化のため前期に変更 (27)	
	文化資料論 A (大阪文化)	未開講 3 後 3 前		2		±						平成28年度は未開講 (28) 開講時期適正化のため後期に変更 (27)	
	文化資料論 B (大阪文化)	3 前 未開講 3 後		2		1						通常開講・専任教員が担当 (28) 開講時期を前期に変更 (28) 平成27年度は未開講 (27)	
	日本文化特殊講義 (大阪文化)	3 後 3 前		2		1					兼 1	専任教員を追加 (27) 開講時期適正化のため後期に変更 (27)	
	日本の SF とバーチャル文化	未開講 未開講 3 前		2								平成28年度は未開講 (28) 平成27年度は未開講 (27)	
	日本社会とメディア	3 前		2			1						
	日本のアニメ文化	2 後 2 前		2			1					開講時期適正化のため後期に変更 (26)	
	日本漫画史	2 前 2 後		2							兼 1	開講時期適正化のため前期に変更 (26)	
	文化資料論 A (サブカルチャー)	3 後 未開講 3 前		2			1					通常開講・専任教員が担当 (28) 開講時期を後期に変更 (28) 平成27年度は未開講 (27)	
文化資料論 B (サブカルチャー)	未開講 3 後		2			±					平成28年度は未開講 (28)		
日本文化特殊講義 (サブカルチャー)	3 後		2							兼 1			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 関 連 科 目	現代文明論	未開講 3-前		2								平成28年度は未開講(28)
	宗教学概論B	1 後		2		1						
	仏教学概論B	1 後		2			1					
	哲学概論	1 後		2							兼1	文部科学省教職員課の指導による区分変更 (入門科目から移動)
	仏教と生活	2 前		2							兼3	
	パーリ語入門	2 前		2							兼1	履修希望者がいなかったため(28)
	サンスクリット語入門	2 後		2			1					兼任講師から専任准教授に変更(28)
	宗教儀礼概論	1 後		2							兼1	
	宗教社会学	2 前		2							兼1	履修希望者がいなかったため(28)
	宗教史	2 前		2		1						
	仏教史	1 後 1 前		2							兼1	開講時期適正化のため後期に変更(25)
	真宗史	2 前 2 後		2			1					開講時期を前期に変更(28) 兼任講師から専任准教授に変更(28)
	日本仏教史A	2 前		2							兼1	
	日本仏教史B	2 後		2							兼1	
	仏教思想論	3 前		2			1					兼任講師から専任准教授に変更(28)
	宗教哲学	3 前		2			±				兼1	専任准教授から兼任講師に変更(28)
	比較宗教学	2 前 2 後		2			±				兼1	開講時期適正化のため前期に変更(27) 専任准教授から兼任教授に担当者変更(26)
	宗教心理学	1 前 1 後		2							兼1	開講時期適正化のため前期に変更(27)
	仏教と社会福祉	3 前		2							兼1	
	身体論	2 後		2							兼2	
	真宗学概論	1 後		2			1					
	真宗聖典学	2 前		2			1					
	宗門法規	2 前		2							兼1	平成27年度入学生より「共通科目①その他」 から移行(27)
	布教法	2 後		2							兼1	平成27年度入学生より「共通科目①その他」 から移行(27)
	勤式作法	2 後		2							兼2	平成27年度入学生より「共通科目①その他」 から移行(27)
	宗教社会活動論	3 後 3 前		2							兼1	開講時期適正化のため後期に変更(27)
	ビハーラ演習	3 後 3 前 3 後		2							兼1	開講時期を後期に変更(28) 開講時期適正化のため前期に変更(27)
	真宗教学史・教団史	3 前		2							兼1	
	真宗儀礼演習	3 前		2							兼2	
	真宗学特殊講義	3 前		2			1					
	真宗伝道演習	3 後		2			±				兼1	兼任准教授から兼任講師に変更(27)
	寺院運営論	3 前		2			1 ±				兼1	専任教授を追加(28) 兼任教授から兼任講師に変更(27)
仏教文化講読1	2 後		2			±	±			兼1	専任准教授から兼任講師に変更(28) 専任教授から専任准教授に担当者変更(26)	
仏教文化講読2	3 後		2							兼1		
仏教文化演習	3 後		2							兼3		
アジアの仏教と社会	3 後		2				1				兼任講師から専任准教授に変更(28)	
知覚心理学	2 後 2 前		2							兼1	開講時期適正化のため後期に変更(26)	
学習心理学	2 後		2							兼1		
カウンセリング演習Ⅰ	2 後		2			1						
カウンセリング演習Ⅱ	3 後		2							兼1		
心理学実験演習	2 前		2							兼1		
心理学実習	3 後		2			2 ±	1 2				准教授1名が教授に職位変更(26)	
カウンセリング実習	3 前		2							兼2		
生涯発達 <small>の臨床心理学</small> (乳幼児期)	2 前		2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専 門 関 連 科 目	生涯発達の臨床心理学 (児童期)	2 後		2								兼1	
	生涯発達の臨床心理学 (青年期)	3 前		2		1							
	生涯発達の臨床心理学 (成人・高齢期)	3 後		2								兼1	
	異常心理学	3 前		2								兼1	
	社会心理学	1 前		2			1						
	人間関係論	2 前		2		1	±						職位変更(26)
	心理学研究法	2 前 2 後		2								兼1	開講時期適正化のため前期に変更(26)
	健康心理学	2 後		2			1						
	心理統計学	2 前		2		1	±						職位変更(26)
	パーソナリティの心理学	1 後		2								兼1	
	発達心理学概説	1 後		2		1							
	カウンセリング論Ⅰ	2 前		2		1							
	カウンセリング論Ⅱ	3 前		2								兼1	
	精神分析学	3 後		2								兼1	
	精神医学	3 後 3 前		2								兼1	通常開講 (28) 開講時期を後期に変更(28) 平成27年度は未開講(27)
	神経心理学	3 後		2								兼1	
	家族心理学	3 前		2								兼1	
	グループダイナミックス	2 前		2			1						
	産業・組織心理学	2 後		2		1	±						職位変更(26)
	消費者行動論	3 前		2								兼1	
	多文化社会論入門	未開講 1 前		2		±							平成28年度は未開講(28)
	ことばと文化	1 後 1 前		2		1							開講時期を後期に変更(28)
	文化交流論	未開講 1 前		2			±						平成28年度は未開講(28) 専任准教授1名が就任辞退したため担当者変更(25)
	英米文化入門	1 前 1 後		2			1						開講時期適正化のため前期に変更(27)
	文化人類学入門	未開講 1 後		2		± 2							平成28年度は未開講(28) 専任教授が本人の都合により退職したため専任教授1名が担当(26)
	国際関係入門	1 前 1 後		2								兼1	開講時期適正化のため前期に変更(25)
	異文化間コミュニケーション	2 後		2		±		1					専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当(26)
	英米文学概論	2 前		2			1						
	イギリスの社会と文化	2 前 2 後 2 前		2			1						開講時期を前期に変更(28) 開設時期適正化のため後期に変更(26)
	フィールドワーク論	2 前 2 後		2		1	±						職位変更(27) 開講時期適正化のため前期に変更(27)
スピーチとプレゼンテーション	2 後 2 前 2 後		2		±		1					開講時期適正化のため後期に変更(27) 開講時期を前期に変更(26) 専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当(26)	
ビジネス英語	3 前		2		±		1					専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当(26)	
コミュニケーション実践	3 前		2		±		1					専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当(26)	
翻訳入門	2 前 2 後		2			1						開講時期適正化のため前期に変更(26)	
翻訳演習	3 後 3 前		2			1						開講時期適正化のため後期に変更(27)	
通訳入門	未開講 2 前 2 後		2		±							平成28年度は未開講(28) 開講時期適正化のため前期に変更(26)	
通訳演習	3 後 3 前		2		1							開講時期適正化のため後期に変更(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 関 連 科 目	比較文化論	3 前		2		1	±					兼任講師から専任教授に変更 (28) 専任准教授1名が就任辞退したため担当者変更 (25)
	情報社会論	3 前		2			±				兼1	兼任准教授から兼任講師に変更 (27)
	英米文学講読	3 後		2			1					
	文化交流実践	未開講 3 後		2		±						平成28年度は未開講 (28)
	アメリカの社会と文化	3 後 3 前		2		±			1			開講時期を後期に変更 (28) 専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当 (26)
	社会調査入門	1 後 1 前		2			±				兼1	兼任准教授から兼任講師に変更 (27) 開講時期適正化のため後期に変更 (27)
	現代社会論演習	2 後		2		1	±					職位変更 (27)
	マス・メディア論	1 後 未開講 1 後 1 前		2							兼1	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため (26) 開講時期適正化のため後期に変更 (25)
	国際金融論	2 前		2		1						
	国際政治論	2 後 2 前		2							兼1	開講時期適正化のため後期に変更 (26)
	社会統計学	2 後		2		1	±					職位変更 (26)
	地球環境論	未開講 未開講 未開講 2 前		2								平成28年度は未開講 (28) 平成27年度は未開講 (27) 平成26年度は未開講 (26)
	社会調査方法論	2 前		2		1	±					職位変更 (27)
	企業管理	3 後		2		1						
	国際経済・貿易論	3 後 3 前		2		1						開講時期適正化のため後期に変更 (27)
	企業経営論	3 前 3 後		2		1						開講時期適正化のため前期に変更 (27)
社会調査演習	3 通		4		1	±					職位変更 (27)	
比較企業文化論	3 後		2		1							
比較文化論演習	3 後		2		1	±					兼任講師から専任教授に変更 (28) 専任准教授1名が就任辞退したため担当者変更 (25)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 232	科目 0	科目 246	科目 14 [0]	科目 227 [▲25△30]	科目 0 [0]	科目 241 [▲25△30]	・科目区分内の移行(キャリアデザイン論、キャリアデザイン演習、インターンシップ実践、日本国憲法、宗門法規、布教法、勤式作法、哲学概論)は変更にかウントしない。

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	政治学入門	2	1	一般	選択	平成25年3月に担当者より就任辞退の申し出があったため、今年度は未開講とした。(25)
2	文学と人生	2	1	一般	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26)
3	世界歴史入門	2	2	一般	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26)
4	マーケティング入門	2	2	一般	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26)
5	日中文化交流史	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26)
6	日中比較文化論	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26)
7	地球環境論	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26)
8	英語Ⅲ	2	2	一般	選択	学生の履修状況等を踏まえ、今年度は未開講とした。(27)
9	英語Ⅳ	2	2	一般	選択	学生の履修状況等を踏まえ、今年度は未開講とした。(27)
10	国語学演習A	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
11	日本文学研究法	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
12	日中文化交流史	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度も未開講とした。(27)
13	文化資料論B(歴史文化)	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
14	文化資料論B(大阪文化)	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
15	日本のSFとバーチャル文化	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
16	文化資料論A(サブカルチャー)	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
17	精神医学	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(27)
18	地球環境論	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度も未開講とした。(27)
19	国語学演習B	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
20	日中文化交流史	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度も未開講とした。(28)
21	日本思想史	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
22	文化資料論A(歴史文化)	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
23	文化資料論A(大阪文化)	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
24	日本のSFとバーチャル文化	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度も未開講とした。(28)
25	文化資料論B(サブカルチャー)	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
26	現代文明論	2	3	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
27	多文化社会論入門	2	1	専門	選択	担当者が体調不良のため、今年度は未開講とした。(28)
28	文化交流論	2	1	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
29	文化人類学入門	2	1	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(28)
30	通訳入門	2	2	専門	選択	担当者が体調不良のため、今年度は未開講とした。(28)
31	文化交流実践	2	3	専門	選択	担当者が体調不良のため、今年度は未開講とした。(28)
32	地球環境論	2	2	専門	選択	同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度も未開講とした。(28)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無	
1	科学と人間	2	2	一般	選択	平成26年度入学生から大学共通の「基礎科目」を見直した結果、当該科目は廃止し、新たに「地域科目」3科目を追加した。(26)	
2	環境と人間	2	2	一般	選択	平成26年度入学生から大学共通の「基礎科目」を見直した結果、当該科目は廃止し、新たに「地域科目」3科目を追加した。(26)	
3	生命と人間	2	2	一般	選択	平成26年度入学生から大学共通の「基礎科目」を見直した結果、当該科目は廃止し、新たに「地域科目」3科目を追加した。(26)	
4	音楽の楽しみ	2	2	一般	選択	全学共通の「共通科目」を見直した結果、平成27年度入学生から左記の科目を廃止した。ただし、平成26年度以前の入学生には開講とした。(27) 左記の科目を平成27年度入学生から廃止したが、平成28年度は、平成26年度以前の入学生に対して支障がないよう「経営学入門」を除き開講した。(28)	
5	西洋美術史	2	2	一般	選択		
6	倫理学入門	2	1	一般	選択		
7	社会と芸術	2	1	一般	選択		
8	経営学入門	2	2	一般	選択		
9	資格英語ⅠA	2	1	一般	選択		
10	資格英語ⅠB	2	1	一般	選択		
11	資格英語ⅡA	2	1	一般	選択		
12	資格英語ⅡB	2	1	一般	選択		
13	資格英語ⅢA	2	2	一般	選択		
14	資格英語ⅢB	2	2	一般	選択		
15	図書館概論	2	1	一般	選択		全学共通の「共通科目」を見直した結果、平成27年度入学生から左記の科目を司書課程科目へ移行した。(27)
16	教職入門	2	2	一般	選択		全学共通の「共通科目」を見直した結果、平成27年度入学生から左記の科目を教職課程科目へ移行した。(27)
17	異文化間教育論	2	2	一般	選択		全学共通の「共通科目」を見直した結果、平成27年度入学生から左記の科目を廃止した。平成26年度以前の入学生には、同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講でも影響はないものと判断した。(27)
18	西洋文化史	2	1	一般	選択	左記の科目を平成27年度入学生から廃止したが、平成26年度以前の入学生については、前年度同様、同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講でも影響はないものと判断した。(28)	
19	美学	2	1	一般	選択		
20	日本歴史入門	2	1	一般	選択		
21	社会学概説	2	1	一般	選択		
22	マーケティング入門	2	2	一般	選択		
23	観光学入門	2	2	一般	選択		
24	政治学入門	2	1	一般	選択		
25	地球と宇宙	2	1	一般	選択		
26	物理学入門	2	1	一般	選択		
27	化学入門	2	1	一般	選択		
28	看護介護入門	2	1	一般	選択		
29	情報と社会	2	1	一般	選択		
30	音楽実技	2	1	一般	選択		

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・今年度開講されない科目は、選択科目であり、他の選択科目が十分に開講されているので学生の履修に支障はない。また、未開講科目の大半は、隔年開講のため来年度開講する予定である。学生には、ガイダンス、時間割等を通じてその旨を説明、周知している。
・平成27年度に全学共通の「共通科目」を見直した結果、多数の科目を廃止した（平成27年度入学生以降に適用）。平成26年度以前の入学生に対しては、経過措置として廃止した科目の一部を開講し、支障がないよう努めている。

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.17}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	相愛高校 (収容定員:1,200名) 相愛中学校 (収容定員:450人) と共用 届出面積 7,077㎡			
	校舎敷地	53,868 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	60,945 ㎡				
	運動場用地	13,028 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	13,028 ㎡				
	小 計	66,896 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	73,973 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡				
	合 計	66,896 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	73,973 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		35,331 ㎡ (35,331 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	35,331 ㎡ (35,331 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		47 室	13 室	129 室	7 室 (補助職員 1 人)	0 4 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人文学科			17 16 18 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	人文学科	113,359 [13,894] 115,955 [13,939] 115,164 [13,930] 114,203 [13,914] (113,532 [13,872]) (112,699 [13,834])	194 [100]	43 [43]	836 (846) (845) (842) (838) (830)	3,721	23		
	計	113,359 [13,894] 115,955 [13,939] 115,164 [13,930] 114,203 [13,914] (113,532 [13,872]) (112,699 [13,834])	(194 [100])	(43 [43])	836 (846) (845) (842) (838) (830)	(3,721)	(23)		
		113,359 [13,894] 115,955 [13,939] 115,164 [13,930] 114,203 [13,914] (113,532 [13,872]) (112,699 [13,834])	(194 [100])	(43 [43])	836 (846) (845) (842) (838) (830)	(3,721)	(23)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
		4,110 ㎡	359 339		244,000				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		3,024 ㎡	テニスコート6面、ゴルフ練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	個人研究費の減額 (28)
		教員1人当り研究費等	200千円	100千円 200千円	図書購入費	0千円	2,042千円 500千円	1,300千円 500千円	完成年度の図書購入費は、前年度の執行額に沿った額を記載 (28)
	共同研究費等	4,500千円	4,950千円 4,500千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	図書購入費は、執行額を記載 (25)	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,245千円	第2年次 1,045千円	第3年次 1,045千円	第4年次 1,045千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	共同研究費は大学全体	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	相愛大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
音楽学部								大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1 音楽マネジメント学科は、2年次より、大阪府大阪市中央区本町4丁目1番23号も利用	
音楽学科	4	100	-	420	学士(音楽)	0.64	平成12年度		平成26年度より入学定員・収容定員変更
音楽マネジメント学科	4	50	-	200	学士(音楽マネジメント)	0.33	平成23年度		
人文学部									
日本文化学科	4	-	-	-	学士(人文学)	-	昭和59年度		平成25年度より学生募集停止
文化交流学科	4	-	-	-	学士(人文学)	-	平成23年度		平成25年度より学生募集停止
人文学科	4	90	-	360	学士(人文学)	0.74	平成25年度		
日本文学・歴史文化コース		(25)	-						
大阪・サブカルチャーコース		(10)	-						
仏教文化コース		(10)	-						
心理コース		(25)	-						
国際コミュニケーションコース		(10)	-						
ビジネス・社会コース		(10)	-						
人間発達学部									
子ども発達学科	4	80	-	360	学士(子ども発達学)	0.80	平成18年度	平成27年度より入学定員・収容定員変更	
発達栄養学科	4	80	-	340	学士(発達栄養学)	0.83	平成18年度	平成26年度より入学定員・収容定員変更	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 人文学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名				
兼任	学長	カネコ サトル 金児 暁嗣	平成25年4月	宗教心理学	兼任	講師	ナコシ ヤスフミ 名越 康文	平成26年4月	宗教心理学	理事長職兼務による公務多忙により、担当者変更(26)			
専	教授 (学部長)	ヤマモト ユキオ 山本 幸男	平成25年4月	人文学概論 ※ 日本文化史A 日本文化史B 文化資料論A (歴史文化)						未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(28)		
				日本文化特殊講義 (歴史文化)									
				基礎演習B							未開講	「基礎演習B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(26)	
				専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究									
											平成28年4月	社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)
専	教授	スズキ ノリオ 鈴木 徳男	平成25年4月	日本文学入門1 日本文学概論 文化資料論A (日本文学)									
				日本文化特殊講義 (日本文学)	専	准教授	アライ マリア 荒井 真理亜 (シラセ マリア) (白瀬 真理亜)	平成27年4月	日本文化特殊講義 (日本文学)	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)			
				基礎演習A 専門基礎演習A							未開講	「基礎演習A」「専門基礎演習A」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(26)	
				専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究									
										平成26年4月	日本文学講読B	平成26年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(26)	
										平成27年4月	日本文学演習B	平成27年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(27)	
							平成28年4月	人文学概論 ※ 社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)				
専	教授	ソン キュウフ 孫 久富	平成25年4月	漢文学講読B							平成25年度後期から開講される「漢文学講読B」については、後任者を人選中(25)		
					専	教授	ナカムラ ケイジ 中村 圭爾	平成26年4月	漢文学講読B	新たな専任教員が担当(26)			
							後任未定				平成25年3月 孫久富教授の自己都合により就任辞退。後任は未定。平成26年度以降の開講科目については、後任者を採用するか、他の専任教員又は兼務教員が担当するか学部で検討中(25)		
				日中文化交流史 日中比較文化論							未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(26)	
					兼任	講師	アオキ ゴロウ 青木 五郎	平成27年4月	日中比較文化論	新たに兼任講師が担当(27)			
				文化資料論B (歴史文化)							未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(27)	
					専	教授	ヤマモト ユキオ 山本 幸男	平成28年4月	文化資料論B (歴史文化)	新たに専任教員が担当(28)			
				専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究							未開講	「専門応用演習A、B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(27)	
海外研修								未開講	「専門研究演習、卒業研究」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(28)				
									未開講	クラス編成の都合上未開講。他のクラスがあるので支障はない(25)			

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	トリエ マサハル 鳥井 正晴	平成25年4月							平成25年3月 鳥井正晴教授一身上の都合により退職。後任に専任准教授(荒井真里亜)を採用(26)	
				文学と人生					未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成26年度は未開講(26)	
				兼任	教授	ヤマシタ ノボル 山下 昇	平成27年4月	世界の文学	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更、担当者変更(27)		
				専	准教授	ニシサコ セイイチロウ 西迫 成一郎	平成26年4月	基礎演習A	鳥井正晴教授退職に伴い、他の専任教員に担当者変更(26)		
				専	教授	マスダ ケイ 益田 圭	平成28年4月	基礎演習A	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)		
				専	准教授	アライ マリア 荒井 真理亜 (シラセ マリア) (白瀬 真理亜)	平成26年4月	日本近代文学史 文化資料論B (日本文学) 専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究	日本近代文学史 文化資料論B (日本文学) 専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究	後任の専任准教授に担当者変更(26)	
							平成26年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(26)	日本文学講読A	平成26年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(26)		
							平成27年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(27)	日本文学演習A	平成27年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(27)		
							平成28年4月	人文学概論 ※	担当科目の追加(28)		
				専	教授	クレタコ ミツトシ 具谷 充利	平成25年4月	西洋美術史			
社会と芸術											
大阪文化入門B 中之島文化論											
文化資料論A (大阪文化)									未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(28)	
専門基礎演習B									未開講	「専門基礎演習B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(26)	
			平成27年4月					専門基礎演習B	平成27年4月から担当(27)		
専	教授	ヤマモト ニキオ 山本 幸男	平成28年4月					専門基礎演習B	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)		
専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究											
			平成27年4月					大阪学入門 ※	平成26年度入学生からの新設科目(27)		
			平成27年4月					基礎演習B	担当科目の追加(27)		
				未開講	「基礎演習B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(28)						
			平成28年4月	社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)						
専	教授	シヤク テッシュウ 釈 徹宗	平成25年4月	建学の精神	専	准教授	オノ マコト 小野 真	平成27年4月	建学の精神	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)	
					専	准教授	イノウエ アキラ 井上 陽	平成28年4月	建学の精神	小野 真准教授退職に伴い、他の専任教員に担当者変更(28)	
				仏教思想と現代					未開講	「仏教思想と現代」は、他のクラスがあるので支障はない(26)	
				人文学概論 ※ 宗教学概論B 宗教史							
				寺院運営論	兼任	講師	マツモト ショウケイ 松本 紹圭	平成27年4月	寺院運営論	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)	
							平成28年4月	寺院運営論 ※	平成28年度は担当(28)		
				仏教文化講読1	専	准教授	オノ マコト 小野 真	平成26年4月	仏教文化講読1	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(26)	
					兼任	講師	テラモト トモサ 寺本 知正	平成28年4月	仏教文化講読1	小野 真准教授退職に伴い、他の兼任教員に担当者変更(28)	
				専門研究演習 卒業研究							
							平成28年4月	社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)		

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ハツヅカ マキコ 初塚 真喜子	平成25年4月	カウンセリング演習Ⅰ 心理学実習 生涯発達の臨床心理学 (乳幼児期) 生涯発達の臨床心理学 (青年期) 発達心理学概説 カウンセリング論Ⅰ 専門応用演習A 専門研究演習 卒業研究						
							平成26年4月	基礎演習B	担当科目の追加(26)	
								未開講	「基礎演習B」は、他のクラスがあるので支障はない(27)	
								平成28年4月	人文学概論 ※ 社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)
専	教授	ブルナー カックス テリーサ BRUNER-COX, Teresa	平成25年4月							平成25年8月 BRUNER-COX, Teresa教授体調不良のため退職。後任に専任講師(J.E. Alsdorf)を採用(26)
				文化人類学入門 ※					未開講	他の専任教員が、オムニバス授業から通常授業に変更の上、開講するので支障はない(26)
				異文化間コミュニケーション スピーチと プレゼンテーション ビジネス英語 コミュニケーション実践 アメリカの社会と文化	専	講師	ヨハン E アルズドルフ J. E. Alsdorf	平成26年4月	異文化間コミュニケーション スピーチと プレゼンテーション ビジネス英語 コミュニケーション実践 アメリカの社会と文化	後任の専任講師に担当者変更(26)
							平成28年4月	人文学概論 ※	担当科目の追加(28)	
				専門基礎演習B	専	准教授	ニシサコ セイイチロウ 西迫 成一郎	平成26年4月	専門基礎演習B	BRUNER-COX, Teresa教授退職に伴い、他の専任教員に担当者変更(26)
					専	准教授	タカキ マナブ 高木 学	平成27年4月	専門基礎演習B	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)
					専	教授	シヤク テツシュウ 釈 徹宗	平成28年4月	専門基礎演習B	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)
海外研修	専	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成26年4月	海外研修	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(26)				
	専	講師	ヨハン E アルズドルフ J. E. Alsdorf	平成28年4月	海外研修	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)				
専	教授	キノシタ(研1) アリコ 木下(森光) 有子	平成25年4月	ことばと文化 多文化社会論入門 通訳入門 文化交流実践						未開講 担当者が体調不良のため、今年度は未開講(28)
				文化人類学入門 ※			平成26年4月	文化人類学入門	オムニバス授業から通常授業に変更(25)	
								未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(28)	
				通訳演習 専門研究演習 卒業研究						
				専門応用演習A	専	講師	ヨハン E アルズドルフ J. E. Alsdorf	平成28年4月	専門応用演習A	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)
				専門応用演習B	専	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成28年4月	専門応用演習B	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)
			平成27年4月	基礎演習B	担当科目の追加(27)					
					未開講	「基礎演習B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(28)				
専	教授	カタオカ タダン 片岡 尹	平成25年4月	経済学入門 国際金融論 企業管理 国際経済・貿易論 企業経営論 比較企業文化論						
				専門研究演習 卒業研究	専	講師	ヨハン E アルズドルフ J. E. Alsdorf	平成28年4月	専門研究演習 卒業研究	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(28)
							平成28年4月	人文学概論 ※	担当科目の追加(28)	

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	
専	准教授	タカキ マナブ 高木 学	平成25年4月	社会学概説	兼任 講師	オウ カズミ 翁 和美	平成26年4月	社会学概説	学科の運営上、他の兼任教員に担当変更(26)
								未開講	平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
				サブカルチャー入門B	兼任 講師	カンダ タカシゲ 神田 貴成	平成27年4月	サブカルチャー入門B	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)
				日本社会とメディア 日本のアニメ文化					
				文化資料論B(サブカルチャー)				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(28)
				専門応用演習A 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究 グループワーキング演習					
							平成25年4月	情報処理演習	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
				未開講	「情報処理演習」は、他の兼任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(26)				
					平成28年4月	基礎演習B 人文学概論 ※ 社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)		
専	准教授	オノ マコト 小野 真	平成25年4月	宗教学概論A 仏教思想論 基礎演習B	専 准教授	イノウエ アキラ 井上 陽	平成28年4月	宗教学概論A 仏教思想論 基礎演習B 専門基礎演習A 社会人基礎力実践 ※	平成28年3月 小野真准教授退職に伴い、新たな専任教員を採用(28)
				宗教哲学			平成28年4月	宗教哲学	平成28年3月 小野真准教授退職、兼任教員として担当(28)
				比較宗教学	兼任 教授	オオムラ エイショウ 大村 英昭	平成26年4月	比較宗教学	学科の運営上、他の兼任教員に担当変更(26)
					兼任 講師	ミキ ヒズル 三木 英	平成27年4月	比較宗教学	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)
				専門応用演習A	専 教授	シヤク テッシュウ 釈 徹宗	平成27年4月	専門応用演習A	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)
				専門応用演習B	専 准教授	ササキ タカアキ 佐々木 隆晃	平成27年4月	専門応用演習B	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)
							平成26年4月	専門基礎演習B	担当科目の追加(26)
				未開講	「専門基礎演習B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(28)				
			平成27年4月	基礎演習A	担当科目の追加(27)				
				専 准教授	イノウエ アキラ 井上 陽	平成28年4月	基礎演習A	平成28年3月 小野真准教授退職に伴い、新たな専任教員を採用(28)	
専	准教授	ササキ タカアキ 佐々木 隆晃	平成25年4月	建学の精神 仏教学概論B 真宗学概論 真宗聖典学 真宗学特殊講義					
				真宗伝道演習	兼任 講師	ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一)	平成27年4月	真宗伝道演習	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)
				基礎演習A					
				専門基礎演習B				未開講	「専門基礎演習B」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(27)
							平成28年4月	専門基礎演習B	平成28年度は担当(28)
					平成28年4月	人文学概論 ※ 専門基礎演習A 基礎演習B	担当科目の追加(28)		

設置時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名			
専	准教授 (学部長)	マスダ ケイ 益田 圭	平成25年4月			教授				平成26年4月1日より職位変更(26)		
											平成27年4月1日から、選挙により学部長に就任(27)	
				人権教育 人文学概論 ※ 心理学実習 人間関係論 心理統計学 産業・組織心理学 社会統計学								
				専門基礎演習A					未開講	「専門基礎演習A」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので 支障はない(28)		
				専門応用演習A 専門応用演習B 主体的学習法 データ分析								
専	准教授	ニシサコ セイイチロウ 西迫 成一郎	平成25年4月	健康科学 心理学実習 社会心理学 健康心理学 グループダイナミックス 専門応用演習B 専門研究演習 卒業研究								
								平成26年4月	基礎演習B	担当科目の追加(26)		
									未開講	「基礎演習B」は、他の専任教員が 担当しているクラスがあるので支障 はない(28)		
							平成28年4月	社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)			
専	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成25年4月	資格英語ⅢA 資格英語ⅢB	専	教授	キノシタ(健三) アリコ 木下(森光) 有子	平成26年4月	資格英語ⅢA 資格英語ⅢB	学科の運営上、他の専任教員に担当 変更(26)		
					専	講師	ヨハン E. アルズドルフ J. E. Alsdorf	平成27年4月	資格英語ⅢB	学科の運営上、「資格英語ⅢB」 は、他の専任教員に担当者変更(27)		
											「資格英語ⅢA、ⅢB」は、平成27 年度入学生から廃止(27)	
					兼任	講師	モリカワ ヤスコ 森川 康子	平成28年4月	資格英語ⅢA 資格英語ⅢB	「資格英語ⅢA、ⅢB」は、平成27 年度入学生から廃止したが、平成26 年度以前入学生に対して担当者を変 更して開講(28)		
				英米文化入門 英米文学概論 イギリスの社会と文化 翻訳入門 翻訳演習 英米文学講読 専門研究演習 卒業研究								
								平成27年4月	基礎演習A 専門基礎演習A	担当科目の追加(27)		
									未開講	「基礎演習A、専門基礎演習A」 は、他の専任教員が担当しているク ラスがあるので支障はない(28)		
				平成28年4月	基礎演習B 人文学概論 ※ 社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	カド カズマサ 嘉戸 一将	平成25年4月	日本史入門	兼任 講師	カド カズマサ 嘉戸 一将	平成25年4月	日本史入門	平成25年3月 嘉戸一将准教授の自己都合により退職。平成25年度は兼任教員として担当(25)	
					専 教授	ヤマモト ニキオ 山本 幸男	平成27年4月	日本史入門	専任教員に担当者変更(27)	
				文化交流論	兼任 講師	カド カズマサ 嘉戸 一将	平成25年4月	文化交流論	平成25年3月 嘉戸一将准教授の自己都合により退職。平成25年度は兼任教員として担当(25)	
								未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、「文化交流論」は未開講(28)	
				基礎演習B				未開講	「基礎演習B」は未開講であるが、他のクラスがあるので支障はない(25)	
							後任未定		平成25年3月 嘉戸一将准教授の自己都合により就任辞退。後任は未定。平成26年度以降の開講科目については、後任者を採用するか、他の専任教員又は兼務教員が担当するか学部で検討中(25)	
				専門基礎演習A	専 准教授	ニシサコ セイイチロウ 西迫 成一郎	平成26年4月	専門基礎演習A	嘉戸一将准教授退職に伴い、他の専任教員に担当者変更(26)	
					専 教授	クレタニ ミツシ 呉谷 充利	平成27年4月	専門基礎演習A	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)	
				日本思想史 比較文化論 比較文化論演習	兼任 講師	カド カズマサ 嘉戸 一将	平成27年4月	日本思想史 比較文化論 比較文化論演習	平成25年3月 嘉戸一将准教授の自己都合により退職。兼任教員として担当(27)	
								未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、「日本思想史」は未開講(28)	
					専 教授	ナカムラ ケイジ 中村 圭爾	平成28年4月	比較文化論 比較文化論演習	専任教員に担当者変更(28)	
				専門応用演習A 専門応用演習B	専 教授	フジタニ タダアキ 藤谷 忠昭	平成27年4月	専門応用演習A 専門応用演習B	嘉戸一将准教授退職に伴い、他の専任教員に担当者変更(27)	
					専 教授	キノシタ アリコ 木下 有子 モリミン アリコ 森光 有子	平成27年4月	社会人基礎力実践 ※	オムニバス授業に変更し、専任教員が担当(27)	
								未開講	「社会人基礎力実践」は、他の専任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(28)	
	専 准教授	アライ マリア 荒井 真理亜 (シラセ マリア) (白瀬 真理亜)	平成27年4月	社会人基礎力実践 ※	オムニバス授業に変更し、専任教員が担当(27)					
	専 准教授	オノ マコト 小野 真	平成27年4月	社会人基礎力実践 ※	オムニバス授業に変更し、専任教員が担当(27)					
	専 講師	ヨハン E アルスドルフ J. E. Alsdorf	平成28年4月	社会人基礎力実践 ※	平成28年3月 小野真准教授退職に伴い、別の専任教員が担当(28)					
専	准教授	フジタニ タダアキ 藤谷 忠昭	平成25年4月		教授				平成27年4月1日より職位変更(27)	
				人文学概論 ※ 現代社会論 フィールドワーク論						
				情報社会論	兼任 講師	フルタ マコト 古田 誠	平成27年4月	情報社会論	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)	
				社会調査入門	兼任 講師	オウ カズミ 翁 和美	平成27年4月	社会調査入門	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)	
					兼任 講師	サンドロヴィッチ ティムール Sandrovyeh Tymur	平成28年4月	社会調査入門	平成28年4月より、本人(翁 和美)の都合により就任辞退。担当者変更(28)	
				現代社会論演習 社会調査方法論 社会調査演習 専門研究演習 卒業研究						
			平成28年4月	社会人基礎力実践 ※	担当科目の追加(28)					
兼任	教授	エグサ ヒロユキ 江草 浩幸	平成25年4月	大学生のための日本語入門 心理学入門 知覚心理学 学習心理学 心理学実験演習						

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	
兼任	教授	チバ シンヤ 千葉 真也	平成25年4月	日本文化概論 大学生のための日本語入門					
				日本語表現法			平成26年4月	文章表現	平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い名称変更。ただし、平成25年度以前の入学生は、従前通りの名称(26)
							平成27年4月	大阪学入門 ※	平成26年度入学生からの新設科目(27)
							平成28年4月	日本文学研究法	担当科目の追加(28)
兼任	教授	ヤマモト カズアキ 山本 和明	平成25年4月	日本文学入門2	兼任 講師	ノダ ナオユ 野田 直恵	平成26年4月	日本文学入門2	平成25年10月より、本人の都合により退職。担当者変更(26)
				日本古典文学史	専 教授	スズキ ノリオ 鈴木 徳男	平成26年4月	日本古典文学史	平成25年10月より、本人の都合により退職。担当者変更(26)
				浪速の文学	兼任 教授	チバ シンヤ 千葉 真也	平成27年4月	浪速の文学	平成25年10月より、本人の都合により退職。担当者変更(27)
兼任	教授	ヤマシタ ノボル 山下 昇	平成25年4月	大学生のための日本語入門					
				インターンシップ			平成26年4月	インターンシップ実践	平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い名称変更。ただし、平成25年度以前の入学生は、従前通りの名称(26)
				英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成27年度は未開講(27)
							平成28年4月	英語 III 英語 IV	通常開講(28)
兼任	教授	ハセガワ セイイチ 長谷川 精一	平成25年4月	教育原論 学校と教師			平成25年4月	教職入門	文部科学省教職員課からの指導により「学校と教師」を「教職入門」に名称変更。平成26年4月に開講予定(26)
兼任	教授	ナカムラ ケイジ 中村 圭爾	平成25年4月	人文学概論 ※ 社会人基礎力形成演習	専 教授				平成26年4月1日より身分が、兼任から専任に変更(26)
							平成26年4月	大学と地域社会	平成26年度入学生からの新設科目(26)
							平成28年4月	基礎演習 A	担当科目の追加(28)
兼任	講師	ナカムラ ケイジ 中村 圭爾	平成27年4月	人文学概論 ※ 社会人基礎力形成演習					
兼任	教授 (学部長)	ハンモト ジュンイチロウ 橋元 淳一郎	平成25年4月	サブカルチャー入門 A 物理学入門					平成26年4月1日から、選挙により学部長に就任(26)
兼任	講師	ハンモト ジュンイチロウ 橋元 淳一郎	平成27年4月	サブカルチャー入門 A	専 准教授	タカキ マナブ 高木 学	平成27年4月	サブカルチャー入門 A	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)
				日本のSFとバーチャル文化 文化資料論 A (サブカルチャー)				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成27年度は未開講(27)
					専 准教授	タカキ マナブ 高木 学	平成28年4月	文化資料論 A (サブカルチャー)	新たに専任教授が担当(28)
				現代文明論				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講(28)
				物理学入門				未開講	平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
				日本文化特殊講義 (サブカルチャー)	兼任 講師	サイカ タダヒロ 雑賀 忠安	平成27年4月	日本文化特殊講義 (サブカルチャー)	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)
兼任	教授	クワハラ ヨシト 桑原 義登	平成25年4月	人間の心と行動 生涯発達の臨床心理学 (児童期) 心理学研究法					
							平成26年4月	基礎演習 A 専門基礎演習 A	担当科目の追加(26)
兼任	講師	クワハラ ヨシト 桑原 義登	平成27年4月	人間の心と行動 カウンセリング演習 II カウンセリング実習 生涯発達の臨床心理学 (児童期) 心理学研究法					

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考	
	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	教授	マエガキ カズヨシ 前垣 和義	平成26年4月	大阪文化入門A 現代大阪文化論 大阪ビジネス論						
兼任	講師	マエガキ カズヨシ 前垣 和義	平成27年4月	大阪文化入門A 現代大阪文化論 大阪ビジネス論						
				文化資料論B (大阪文化)				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成27年度は未開講(27)	
				専	教授	クレタニ ミツトシ 呉谷 充利	平成28年4月	文化資料論B (大阪文化)	新たに専任教員が担当(28)	
				専	教授	シヤク テツシユウ 釈 徹宗	平成27年4月	日本文化特殊講義 (大阪文化)	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)	
				日本文化特殊講義 (大阪文化)	兼任	講師	カツラ ハルノスケ 桂 春之輔 (ヤマシロ アキラ) (山城 彰)	平成27年4月	日本文化特殊講義 (大阪文化)	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(27)
							平成27年4月	大阪学入門 ※	平成26年度入学生からの新設科目(27)	
兼任	教授	オオムラ エイショウ 大村 英昭	平成26年4月	宗教社会学						
兼任	講師	オオムラ エイショウ 大村 英昭	平成27年4月	宗教社会学	兼任	講師	ミキ ヒズル 三木 英	平成27年4月	宗教社会学	平成27年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(27)
兼任	准教授	ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一)	平成25年4月	仏教思想と現代 大学生のための日本語入門 日本仏教史A 日本仏教史B					平成25年4月1日より職位の変更(25)	
							平成26年4月	基礎演習A 基礎演習B	担当科目の追加(26)	
兼任	講師	ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一)	平成27年4月	仏教思想と現代 大学生のための日本語入門 日本仏教史A 日本仏教史B				未開講	「大学生のための日本語入門」は、他の兼任教員が担当しているクラスがあるので支障はない(27)	
兼任	准教授	ミヨシ ユキハル 三好 幸治	平成25年4月	法学入門	兼任	講師	ミノブチ マサアキ 溝渕 将章	平成25年4月	法学入門	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
					兼任	講師	オオヤ ヨシユキ 大矢 吉之	平成27年4月	法学入門	平成27年4月より、本人(溝渕 将章)の都合により就任辞退。担当者変更(27)
				日本国憲法	兼任	講師	チヨハラ リョウイチ 千代原 亮一	平成25年4月	日本国憲法	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
					兼任	講師	アキモト ヨウスケ 秋元 洋祐	平成26年4月	日本国憲法	平成26年4月より、本人(千代原 亮一)の都合により就任辞退。担当者変更(26)
					兼任	講師	オクノ ヒロユキ 奥野 浩之	平成25年4月	日本国憲法	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
					兼任	講師	オクノ ヒロユキ 奥野 浩之	平成28年4月	日本国憲法	平成28年4月より、兼任教員として担当(28)
兼任	講師	ワタナベ ノリオ 渡邊 了生	平成25年4月	仏教学概論A						
兼任	講師	ヒダカ アキラ 日高 明	平成25年4月	哲学概論 仏教と社会福祉						
							平成28年4月	寺院運営論 ※	担当科目の追加(28)	
兼任	講師	ハチヤ マユミ 蜂矢 真弓	平成25年4月	国語学概論						
				国語学演習A				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成27年度は未開講(27)	
							平成28年4月	国語学演習A	通常開講(28)	
				国語学演習B				未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成28年度は未開講(28)	
兼任	講師	クリハラ ユカ 栗原 由加	平成25年4月	言語学概論	兼任	講師	ホリカワ トモヤ 堀川 智也	平成26年4月	言語学概論	平成26年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(26)
					兼任	講師	ウジヒラ アキラ 氏平 明	平成27年4月	言語学概論	平成27年4月より、本人(堀川 智也)の都合により就任辞退。担当者変更(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	キタヤマ ミツマサ 北山 円正	平成25年4月	漢文学講読A 漢文学						
兼任	講師	ハマスミ マユ 濱住 真有	平成27年4月	日本美術史	兼任	講師	タカシ ミドリ 高志 緑	平成27年4月	日本美術史	平成27年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(27)
兼任	講師	モリタ テイコ 盛田 帝子 (イイクラ テイコ) (飯倉 帝子)	平成26年4月	国語表現法	兼任	講師	ノダ ナオエ 野田 直恵	平成26年4月	国語表現法	平成26年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(26)
兼任	講師	フクダ チカシ 福田 知可志	平成26年4月	漢文学史A 漢文学史B						
兼任	講師	フナオ ヨシヒロ 舟尾 善博	平成27年4月	書道A 書道B	兼任	講師	ナガヤス ランセン 長安 蘭銃	平成27年4月	書道A 書道B	平成27年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(27)
兼任	講師	アライ マリア 荒井 真理亜 (シラセ マリア) (白瀬 真理亜)	平成27年4月	映像と文学	専	准教授				平成26年4月1日、専任准教授として採用 (26)
兼任	講師	タナカ ヨシコ 田中 美子	平成25年4月	倫理学入門 日本の哲学A 日本の哲学B						平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止。平成26年度以前の入学生には開講(27)
兼任	講師	カツラ フンガ 桂 文我 (オオヒガシ ユキヒロ) (大東 幸浩)	平成27年4月	上方落語論				平成28年4月	世界の思想	平成27年度入学生からの新設科目(28)
兼任	講師	サイカ タダヒロ 雑賀 忠宏	平成26年4月	日本漫画史						
兼任	講師	ウサミ ナオヒデ 宇佐美 直秀	平成26年4月	仏教と生活 ※ 仏教文化演習				平成27年4月	仏教文化演習 ※	オムニバス授業に変更(27)
兼任	講師	クラタ ヤヨイ 蔵田 弥生	平成26年4月	仏教と生活 ※ 仏教文化演習				平成27年4月	仏教文化演習 ※	オムニバス授業に変更(27)
兼任	講師	ヤマサキ ケイイチロウ 山崎 恵一郎	平成26年4月	仏教と生活 ※ 仏教文化演習	兼任	講師	ヨシムラ ショウヨウ 吉村 昇洋	平成26年4月	仏教と生活 ※	担当者の変更(26)
兼任	講師	ノリヤマ サトル 乗山 悟	平成25年4月	建学の精神 仏教思想と現代 パーリ語入門	兼任	講師	ヨシムラ ショウヨウ 吉村 昇洋	平成27年4月	仏教文化演習 ※	担当者の変更(27) オムニバス授業に変更(27)
兼任	講師	イノウエ アキラ 井上 陽	平成26年4月	サンスクリット語入門	専	准教授				平成28年4月1日、専任准教授として採用 (28)
兼任	講師	フクモト ヤスユキ 福本 康之	平成25年4月	宗教儀礼概論						
兼任	講師	ナオミ ゲンテツ 直海 玄哲	平成25年4月	仏教史						
兼任	講師	ハラダ シュウジ 原田 宗司	平成26年4月	真宗史	専	准教授	ササキ タカアキ 佐々木 隆晃	平成28年4月	真宗史	新たに専任准教授が担当 (28)
兼任	講師	ササキ ジョウドウ 佐々木 奨堂	平成26年4月	身体論						
兼任	講師	サトウ ニウスケ 佐藤 友亮	平成26年4月	身体論						
兼任	講師	モリモトノリコ 森本 典子	平成27年4月	宗教社会活動論						
兼任	講師	ウチモト ミクル 打本 未来	平成27年4月	ビハーラ演習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	アマギシ ジョウエン 天岸 淨園	平成27年4月	真宗教学史・教団史						
兼任	講師	チカマツ ショウシュン 近松 照俊	平成27年4月	真宗儀礼演習						
兼任	講師	チカマツ シンジョウ 近松 真定	平成27年4月	真宗儀礼演習						
兼任	講師	ベツキ コウショウ 戸次 公正	平成27年4月	仏教文化講読2						
兼任	講師	カワモト カレン 勝本 華蓮	平成27年4月	アジアの仏教と社会	兼任	講師	イノウエ アキラ 井上 陽	平成27年4月	アジアの仏教と社会	平成27年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(27)
					専	准教授	イノウエ アキラ 井上 陽	平成28年4月	アジアの仏教と社会	平成28年4月1日、専任准教授として採用(28)
兼任	講師	ニシダ ヨシオ 西田 吉男	平成27年4月	カウンセリング実習						
兼任	講師	ヨコカワ マチコ 横川 真知子 (ダイドウ マチコ) (大道 真知子)	平成27年4月	生涯発達の臨床心理学 (成人・高齢期) 異常心理学						
兼任	講師	ナカムラ シンスケ 中村 慎佑	平成25年4月	パーソナリティの心理学 消費者行動論						
兼任	講師	ニシイ ケイコ 西井 恵子	平成27年4月	カウンセリング論Ⅱ	兼任	講師	ニシダ ヨシオ 西田 吉男	平成27年4月	カウンセリング論Ⅱ	担当者の変更(27)
				精神分析学						
兼任	講師	タナカ シゲキ 田中 茂樹	平成27年4月	精神医学					未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成27年度は未開講(27)
				神経心理学	兼任	講師	イワキリ マサヒロ 岩切 昌宏	平成28年4月	精神医学	新たな兼任講師が担当(28)
兼任	講師	シオタニ タカマサ 塩谷 尚正	平成27年4月	家族心理学	兼任	講師	ナカムラ シンスケ 中村 慎佑	平成27年4月	家族心理学	平成27年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(27)
兼任	講師	オオノ ナオキ 大野 直樹	平成25年4月	国際関係入門 国際政治論						
兼任	講師	フルタ マコト 古田 誠	平成25年4月	マス・メディア論						
兼任	講師	ムカイ ソノヨ 向井 苑生	平成26年4月	地球環境論					未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、未開講。 他に選択科目があるため支障はない(26)
兼任	講師	タムラ シオン 多村 至恩	平成25年4月	建学の精神	兼任	講師	クワハラ アキノブ 桑原 昭信	平成27年4月	建学の精神	担当者の変更(27)
				仏教思想と現代	兼任	講師	ヒダカ アキラ 日高 明	平成28年4月	建学の精神	平成28年4月より、本人(桑原 昭信)の都合により就任辞退。 担当者変更(28)
兼任	講師	ホンダ アヤ 本多 彩	平成25年4月	建学の精神 仏教思想と現代						
兼任	講師	チタニ キミカズ 智谷 公和	平成25年4月	建学の精神						
							平成26年4月	仏教思想と現代	クラス数増加に伴い担当者を追加(26)	
兼任	講師	イケヤマ セツロウ 池山 説郎	平成25年4月	科学と人間						平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い「科学と人間」は廃止。平成25年度以前の入学生には、開講(26)
				科学史入門						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ホンダ マコト 本多 真	平成26年4月	環境と人間						平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い「環境と人間」は廃止。平成25年度以前の入学生には、開講(26)
兼任	講師	クワバラ ヒデユキ 桑原 英之	平成26年4月	生命と人間						平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い「生命と人間」は廃止。平成25年度以前の入学生には、開講(26)
兼任	講師	スズキ ケイゴ 鈴木 敬吾	平成26年4月	日本語表現法				平成26年4月	文章表現	平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い名称変更。ただし、平成25年度以前の入学生は、従前通りの名称(26)
				音楽の楽しみ						「文章表現」は、他のクラスがあるので支障はない(28)
兼任	講師	タナカ フジオ 田中 不二夫	平成25年4月	西洋文化史 美学						平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	ニシオ ヤスヒロ 西尾 泰広	平成25年4月	日本歴史入門						平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	オオニシ リクコ 大西 陸子	平成26年4月	世界歴史入門						同科目区分の開講数を勘案した結果、平成26年度は未開講(26)
					兼任	講師	シカタ シュンスケ 四方 俊祐	平成27年4月	世界の歴史	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更、担当者変更(27)
兼任	講師	セキグチ ヤスユキ 関口 靖之	平成25年4月	地理学入門(地誌を含む)				平成27年4月	世界の地理	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
兼任	講師	スギモト ヨシオ 杉本 良雄	平成25年4月	経済学入門						所属学部等の都合により未開講。他のクラスがあるので支障はない(25)
兼任	講師	スガ マキコ 菅 万希子	平成26年4月	経営学入門	兼任	講師	イケダ ヒロシ 池田 浩	平成26年4月	経営学入門	所属学部等の都合により担当者変更(26)
				マーケティング入門						平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止。平成26年度以前の入学生には開講(27)
										平成26年度入学生から、基礎科目の改訂に伴い廃止。未開講(28)
										同科目区分の開講数を勘案した結果、平成26年度「マーケティング入門」は未開講(26)
										平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎	平成26年4月	観光学入門	兼任	講師	サキモト タケン 崎本 武志	平成26年4月	観光学入門	平成26年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(26)
										平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	ツネモト ハジメ 常本 一	平成25年4月	政治学入門						平成25年4月より、本務の都合で就任辞退。今年度は未開講。他の選択科目があるので支障はない(25)
					兼任	講師	オオヤ ヨシユキ 大矢 吉之	平成26年4月	政治学入門	平成26年度は、担当者を変更して当初の計画通り通常開講(26)
										平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	ムカイ タダシ 向井 正	平成25年4月	数学入門				平成27年4月	生活の中の数学	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
				地球と宇宙	兼任	講師	ウオズミ ヨシユキ 魚住 義介	平成28年4月	生活の中の数学	新たな兼任講師が担当(28)
										平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	ハラダ ナルヒコ 原田 匠彦	平成25年4月	化学入門						平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	オオタ カズタカ 太田 和孝	平成25年4月	生物学入門						
兼任	講師	ナカガワ マナブ 中川 学	平成26年4月	現代と医学						

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	マエダ チユコ 前田 智恵子	平成25年4月	看護介護入門				未開講	平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	オカモト カヨコ 岡本 香代子	平成25年4月	健康科学	兼任 講師	オクノ マサミチ 奥野 暢通	平成28年4月	健康科学	平成28年4月より、本人の都合により就任辞退。本人の都合により担当者変更(28)
				健康とスポーツ実習			平成27年4月	健康とスポーツ実技	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
				生涯健康とスポーツ実習				未開講	平成28年4月より、本人の都合により就任辞退。未開講。「健康とスポーツ実技」は他のクラスがあるので支障はない(28)
兼任	講師	オクノ マサミチ 奥野 暢通	平成25年4月	健康とスポーツ実習			平成27年4月	健康とスポーツ実技	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
				生涯健康とスポーツ実習				生涯健康とスポーツ実技	
兼任	講師	ミナトノ エミ 港野 恵美	平成25年4月	健康とスポーツ実習			平成27年4月	健康とスポーツ実技	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
					兼任 講師	オチ ニウロウ 越智 祐光	平成28年4月	健康とスポーツ実技	平成28年4月より、本人の都合により就任辞退。本人の都合により担当者変更(28)
兼任	講師	シモジ シンヤ 下地 信也	平成25年4月	キャリアデザイン論 キャリアデザイン演習	兼任 教授	ヤマシタ ノボル 山下 昇	平成26年4月	キャリアデザイン論 キャリアデザイン演習	所属学部等の都合により担当者変更(26)
兼任	講師	オカモト クニコ 岡本 久仁子	平成25年4月	情報処理演習			平成27年4月	情報処理演習A	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
								情報処理演習B	平成27年度入学生からの新設科目(27)
兼任	講師	オカダ ユタカ 岡田 裕	平成25年4月	情報処理演習			平成27年4月	情報処理演習A	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
				情報と社会				未開講	平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
							平成27年4月	まちづくり入門 ※ 情報処理演習B	平成26年度入学生からの新設科目(27) 平成27年度入学生からの新設科目(27)
兼任	講師	ナカジマ キンヤ 中島 欣哉	平成25年4月	情報処理演習			平成27年4月	情報処理演習A	平成27年度入学生から共通科目の改訂に伴い科目名称変更(27)
								情報処理演習B	平成27年度入学生からの新設科目(27)
兼任	講師	ハヤシ ミユコ 林 美恵子	平成25年4月	情報処理演習				未開講	クラス編成の都合上、未開講。「情報処理演習」は、他のクラスがあるので支障はない(26)
兼任	講師	ハギワラ マサヤ 萩原 雅也	平成25年4月	生涯学習概論					
兼任	講師	ヤマモト ジュンイチ 山本 順一	平成25年4月	図書館概論	兼任 教授	キタ カツイチ 北 克一	平成25年4月	図書館概論	平成25年4月より、専任を採用したため担当者変更(25)
									平成27年度入学生から、共通科目の改訂により司書課程科目へ移行。平成26年度以前の入学生には開講(27)
兼任	講師	ナワ ツキノスケ 名和 月之介	平成26年4月	ボランティア論 ボランティア体験					
兼任	講師	イシイ ユミコ 石井 優美子	平成25年4月	音楽実技				未開講	平成27年度入学生から、共通科目の改訂により廃止(27)
兼任	講師	トミオカ ミチコ 富岡 美知子	平成26年4月	異文化間教育論					平成27年度入学生から、共通科目の改訂により教職課程科目へ移行。平成26年度以前の入学生には開講(27)
兼任	講師	ハヤシ ハルオ 林 春男	平成26年4月	宗門法規					平成27年度入学生から、共通科目の改訂により専門科目へ移行。平成26年度以前の入学生には開講(27)

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	カドノ ヒロアキ 葛野 洋明	平成26年4月	布教法	兼任	講師	タクモト リョウゴ 竹本 了悟	平成26年4月	布教法	平成26年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(26)	
											平成27年度入学生から、共通科目の改訂により専門科目へ移行。平成26年度以前の入学生には開講(27)
					兼任	講師	アカイ トモアキ 赤井 智顕	平成28年4月	布教法	平成28年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(28)	
兼任	講師	タカハシ アキト 高橋 昭人	平成26年4月	動式作法						平成27年度入学生から、共通科目の改訂により専門科目へ移行。平成26年度以前の入学生には開講(27)	
					兼任	講師	チカマツ ショウシュン 近松 照俊	平成27年4月	動式作法	担当者の変更(27)	
					兼任	講師	チカマツ シンジョウ 近松 真定	平成27年4月	動式作法	担当者の変更(27)	
兼任	講師	ヨハン E アルスドルフ J. E. Alsdorf	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	専	講師				平成26年4月1日、専任講師として採用(26)	
					兼任	講師	ソウマ サオリ 相馬 沙織 (マツモト サオリ) (松本 沙織)	平成28年4月	英会話 I 英会話 II	学科の運営上、他の兼任教員に担当者変更(28)	
兼任	講師	モリカワ ヤスコ 森川 康子	平成25年4月	英会話 I 英会話 II							
								平成28年4月	TOEIC対策ⅢA TOEIC対策ⅢB	平成27年度入学生からの新設科目(28)	
兼任	講師	マイケル C ルイス Michael, C. Lewis	平成25年4月	英会話 I 英会話 II 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ							
兼任	講師	クボ キミヒト 久保 公人	平成25年4月	英語 I 英語 II					未開講	クラス編成の都合上、平成25年4月より未開講。「英語 I」「英語 II」は、他に担当者がいるため支障はない(25)	
兼任	講師	タグチ (ナカジマ) ヒロ 田口(中島)寛子	平成25年4月	英語 I 英語 II	兼任	講師	イサカイ ヤスフミ 飯盛 康史	平成25年10月	英語 I 英語 II	平成25年10月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(26)	
				資格英語ⅡA 資格英語ⅡB	兼任	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成26年4月	資格英語ⅡA 資格英語ⅡB	平成25年10月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(26)	
					兼任	教授	ヤマシタ ノボル 山下 昇	平成27年4月	資格英語ⅡA	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)	
					専	講師	ヨハン E アルスドルフ J. E. Alsdorf	平成27年4月	資格英語ⅡB	学科の運営上、他の専任教員に担当者変更(27)	
										「資格英語ⅡA、ⅡB」は、平成27年度入学生から廃止(27)	
					兼任	講師	ソウマ サオリ 相馬 沙織 (マツモト サオリ) (松本 沙織)	平成28年4月	資格英語ⅡA 資格英語ⅡB	「資格英語ⅡA、ⅡB」は、平成27年度入学生から廃止したが、平成26年度以前入学生に対して担当者を変更して開講(28)	
兼任	講師	ニシガキ ユカ 西垣 有夏	平成25年4月	英語 I 英語 II							
兼任	講師	ノグチ マサコ 野口 昌子	平成25年4月	英語 I 英語 II							
				資格英語ⅠA 資格英語ⅠB					平成27年4月	TOEIC対策ⅠA TOEIC対策ⅠB	「資格英語ⅠA、ⅠB」は、平成27年度入学生から廃止(27)
兼任	講師	ソウマ サオリ 相馬 沙織 (マツモト サオリ) (松本 沙織)	平成25年4月	英語 I 英語 II						未開講	クラス編成の都合上、未開講。「英語 I、Ⅱ」は、他のクラスがあるので支障はない(28)
									平成28年4月	TOEIC対策ⅡA TOEIC対策ⅡB	平成27年度入学生からの新設科目(28)

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				専任・兼任・兼任の別	変更状況				備考
	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名		職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	シマモト ケイタ 嶋本 慶太	平成25年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II				未開講	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。「ドイツ語 I」、「ドイツ語 II」は、他に担当がいるため支障はない(25)	
					兼任	講師	ツチヤ キョウコ 土屋 京子	平成26年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II	平成26年度は、担当者を変更して当初の計画通り通常開講(26)
									未開講	クラス編成の都合上、未開講。「ドイツ語 I、II」は、他のクラスがあるので支障はない(27)
兼任	講師	タジマ アキヒロ 田島 昭洋	平成25年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II						
兼任	講師	コマツ ヒロアキ 小松 寛明	平成25年4月	イタリア語 I イタリア語 II						
兼任	講師	クヤキダニ ユキコ 樺谷 由紀子	平成25年4月	イタリア語 I イタリア語 II				未開講	クラス編成の都合上、未開講。「イタリア語 I、II」は、他のクラスがあるので支障はない(27)	
兼任	講師	コマツ マサミチ 小松 正道	平成25年4月	フランス語 I フランス語 II	兼任	講師	ササキ カオリ 佐々木 香理	平成25年4月	フランス語 I フランス語 II	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
					兼任	講師	ササキ コウタ 佐々木 幸太	平成26年4月	フランス語 I フランス語 II	平成26年4月より、本人(佐々木香理)の都合により就任辞退。担当者変更(26)
兼任	講師	タナカ ヨウコ 田中 洋子	平成25年4月	中国語 I 中国語 II						
兼任	講師	リ ネイ 李 寧	平成25年4月	中国語 I 中国語 II				未開講	クラス編成の都合上、未開講。「中国語 I、II」は、他のクラスがあるので支障はない(26)	
					兼任	講師	ツカダ ヒロノリ 塚田 博教	平成25年4月	建学の精神	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
					兼任	講師	マツバラ マコト 松原 真	平成25年4月	大学生のための日本語入門	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
									未開講	クラス編成の都合上、未開講。「大学生のための日本語入門」は、他のクラスがあるので支障はない(26)
					兼任	講師	シバヤマ ケイ 柴山 慧	平成25年4月	健康とスポーツ実習	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
									未開講	クラス編成の都合上、未開講。「健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない(26)
					兼任	講師	ポール ジョーゲンセン Paul Jorgenson	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
					兼任	講師	アンドリュー リーガル Andrew Regal	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	平成26年4月より、本人(Paul Jorgenson)の都合により就任辞退。担当者変更(26)
					兼任	講師	ジョナサン マクナブ Jonathan MacNab	平成28年4月	英会話 I 英会話 II	平成28年4月より、本人(Andrew Regal)の都合により就任辞退。担当者変更(28)
					兼任	講師	アンドリュー ケツスィーカス Andrew Katsikas	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
					兼任	講師	カール プライス Karl Price	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	平成26年4月より、本人(Andrew Katsikas)の都合により就任辞退。担当者変更(26)
					兼任	講師	ライアン ヴァンダム Ryan van Dam	平成27年4月	英会話 I 英会話 II	平成27年4月より、本人(Karl Price)の都合により就任辞退。担当者変更(27)
					兼任	講師	サマー アルハッシュワ Samer Alhashwa	平成28年4月	英会話 I 英会話 II	平成28年4月より、本人(Ryan van Dam)の都合により就任辞退。担当者変更(28)
					兼任	講師	ジェイ レイミー Jay Ramey	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(25)
					兼任	講師	ケビン ベレンズ Kevin Behrens	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	平成26年4月より、本人(Jay Ramey)の都合により就任辞退。担当者変更(26)
					兼任	講師	クロイ ウィリス Chloe Willis	平成28年4月	英会話 I 英会話 II	平成28年4月より、本人(Kevin Behrens)の都合により就任辞退。担当者変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	ハマハタ ケイゴ 浜畑 圭吾	平成25年4月 平成26年4月	文学と芸能 日本文学と仏教	平成25年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(25) 平成26年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(26)
					兼任	講師	コンドウ キンイチ 近藤 欽一	平成26年4月	人権教育	クラス数増加に伴い担当者を追加(26)
					兼任	講師	クズメ ミユコ 葛目 巴恵子	平成27年4月	人権教育	平成27年4月より、定年(近藤欽一)のため担当者変更(27)
					兼任	講師	ヤスイ カズエ 安井 寿枝	平成26年4月	国語史 日本語プレゼンテーション	平成26年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(26)
					兼任	講師	シマモト ケイコ 嶋本 圭子	平成27年4月	日本語教授法 日本語A 日本語B	平成27年4月から、文部科学省教職員課からの指導により科目を追加(27) 平成27年度入学生からの留学生対象新設科目(27)
					兼任	講師	ハタノ ヨシノリ 波多野 吉徳	平成27年4月	日本語会話A 日本語会話B 日本語A 日本語B	平成27年度入学生からの留学生対象新設科目(27)
					兼任	講師	カン セツコ 菅 摂子	平成27年4月	日本語会話A 日本語会話B	平成27年度入学生からの留学生対象新設科目(27)
					兼任	准教授	ヌマタ ジュン 沼田 潤	平成28年4月	大学生のための日本語入門	クラス編成の都合上、新たに担当者追加(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇学部 △学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	8	0	0	18	10	6	1	0	17	10	6	1	0	17
(10)	(8)	(0)	(0)	(18)						[△3▲3]	[△4▲2]	[▲1]	[-]	[△6▲5]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
68 歳	2 名	2 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	孫 久富	選択	漢文学講読B	①	当人は、相愛大学人文学部に平成4年4月より勤務しており、今回の学科設置にあたり人文学科の教授として平成25年度から就任予定であった。しかしながら、一身上の理由から平成25年3月末をもって本学を退職したい旨の願い出があったため就任辞退（25）		
			選択	日中文化交流史	③			
			選択	日中比較文化論	②			
			選択	文化資料論B （歴史文化）	①			
			必修	専門応用演習A	③			
			必修	専門応用演習B	③			
			必修	専門研究演習	③			
			必修	卒業研究	③			
2	准教授	嘉戸 一将	選択	日本史入門	①	当人は、相愛大学人文学部に平成17年4月より勤務しており、今回の学科設置にあたり人文学科の准教授として平成25年度から就任予定であった。しかしながら、一身上の理由から平成25年3月末をもって本学を退職したい旨の願い出があったため就任辞退（25）		
			選択	文化交流論	③			
			必修	基礎演習B	③			
			必修	専門基礎演習A	①			
			選択	日本思想史	③			
			選択	比較文化論	①			
			選択	比較文化論演習	①			
			必修	専門応用演習A	①			
必修	専門応用演習B	①						
選択	社会人基礎力実践	①						
合計（A）				後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
2 人	必修	8 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	5 科目
	選択	11 科目	選択	6 科目	選択	1 科目	選択	4 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	19 科目	計	9 科目	計	1 科目	計	9 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	鳥井 正晴	選択	文学と人生	②	当人は、相愛大学人文学部に平成14年4月より勤務しており、今回の学科設置にあたり人文学科の教授として平成25年度に就任した。しかしながら、一身上の理由から平成26年3月末をもって本学を退職したい旨の願い出があったため辞任 (26)		
			必修	基礎演習A	①			
			選択	日本近代文学史	①			
			選択	文化資料論B (日本文学)	①			
			必修	専門応用演習A	①			
			必修	専門応用演習B	①			
			必修	専門研究演習	①			
2	教授	BRUNER-COX, Teresa	選択	文化人類学入門	①	当人は、相愛大学人文学部に昭和61年より長年勤務しており、今回の学科設置にあたり人文学科の教授として平成25年度に就任した。しかし、平成25年度前半に体調を崩し、平成25年度8月末をもって、本学を退職したい旨の願い出があったため辞任 (26)		
			選択	異文化間コミュニケーション	①			
			選択	スピーチとプレゼンテーション	①			
			選択	ビジネス英語	①			
			選択	コミュニケーション実践	①			
			選択	アメリカの社会と文化	①			
			必修	専門基礎演習B	①			
3	准教授	小野 真	選択	宗教学概論A	①	当人は、相愛大学人文学部に平成20年より勤務しており、今回の学科設置にあたり人文学科の准教授として平成25年度に就任した。しかし、都合により平成28年3月末をもって、本学を退職することになったため辞任 (28)		
			選択	仏教思想論	①			
			必修	基礎演習B	①			
			選択	宗教哲学	②			
			選択	比較宗教学	②			
			必修	専門応用演習A	①			
必修	専門応用演習B	①						
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
3 人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	14 科目	選択	11 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	23 科目	計	20 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
5 人	必修	17 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	5 科目
	選択	25 科目	選択	17 科目	選択	4 科目	選択	4 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	42 科目	計	29 科目	計	4 科目	計	9 科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 平成25年3月末に2名の教員、平成25年8月末に1名の教員、平成26年3月末に1名の教員、平成28年3月末に1名の教員、計5名の教員が一身上の都合等により退職した。一方で、今後の教育課程の維持、学科運営等において、影響を生じないよう教員配置を再度慎重に検討した結果、平成26年度に2名の専任教員を採用するとともに、1名の兼任教員を専任教員に変更し、平成28年度に1名の専任教員を採用し、履修等に影響を生じないよう適切な教員配置を行った。
 ・ 学生には、新年度ガイダンス等を通じて説明を行うことにより周知した。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	人文学部人文学科の 定員充足率の平均が 0.7倍未満となっている ことから、学生の確保 に努めるとともに、 入学定員の見直しにつ いて検討すること。	改善意見	平成27年9月に学部内に 「人文学部改革検討委員 会」(委員長は学部長)を 立ち上げ、人文学部の学 生募集活動の対策を検討 するとともに、教育内容 ・方法のさらなる充実を 図るために、平成27年度 内に計5回の会議を行い、 これらの未充足率への対 策として、オープンキャン パスへの参加者増をめざ すべく、学部内で「オー プンキャンパス委員」を選 出し、オープンキャンパス での実施イベント等の見 直しと充実に傾注した。 また、更なる留学生の 受け入れをめざし、平成 28年度の入学試験にお いて、新たに、日本語学 校長等の推薦による、「留 学生推薦入学試験」を 実施した。この入試で の留学生の志願者数は、 合計14名(内、合格者 は9名)を数えた。 これらの改革の実施に伴 い、平成28年度の入学 者数は、83名(入学定 員充足率0.92)とな った。

<p>音楽学部音楽マネジメント学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>音楽学部2学科の改編を含めた抜本的な改革の検討を行うべく、平成26年10月に学長主導により設置した「音楽学部改革検討委員会」（委員長は学長）において、最終確認した「音楽学部改革基本方針」（平成27年5月）に沿って、平成29年度からの音楽マネジメント学科の定員変更について、平成28年2月18日開催の大学評議会での審議の後、平成28年3月29日開催の理事会において、入学定員をこれまでの50名から20名（収容定員は、学年進行とともに減少させる）とする学則の変更を決議した。</p>	<p>左記の決定に伴い、平成28年5月に、音楽マネジメント学科の「収容定員の変更に係る学則の変更」の届出を行うことにしている。 その他、音楽マネジメント学科の平成29年度入学試験において、試験科目の変更を行い、これまで高等学校等で音楽を専門的に学んでこなかった生徒にも門戸を広げることにしている。 また、引き続き、「音楽学部改革検討委員会」において、今後の音楽学部のあり方について、改革の検討を継続する。</p>
<p>既設学部等（音楽学部音楽学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>音楽学部音楽学科の平成25年度以前の4年間の平均入学定員充足率が0.68倍という状況であったことや、近隣の音楽関係の学科を持つ大学等と同様に近年の音楽分野の志願者数が減少していること等から、平成26年4月から、それまでの入学定員120名を100名に、同じく収容定員480名を400名とした学則の変更を行った（平成25年5月届出）。しかし、平成26年度の入学定員に占める入学者比率が0.61倍に留まったことを受け、音楽マネジメント学科を含めた、音楽学部のあり方について抜本的な検討を行うために、平成26年10月に「音楽学部改革検討委員会」を立ち上げ、両学科の改編をも視野に入れた抜本的な改革の検討を重ねているところである。 また、高等学校での吹奏楽部をターゲットとした「吹奏楽コンクール課題曲講習会」を開催したり、オープンキャンパスでの担当教員による「ワンポイントアドバイスレッスン」の実施や、オープンキャンパス参加者が自由に演奏できるようにホールを開放したりして、本学に興味・関心を持ってもらうための取組みを拡大させる一方、音楽学部の一部学費の減額と納入方法の変更により、1年間に掛かる費用の平準化を行うなどして、学生募集活動に力を注いできた。</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<人文学部 人文学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成20年度より、全学的なFD委員会が設置されている。 （別紙1：相愛大学FD委員会規程）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成27年度は、計6回（4/22、5/20、7/29、10/8、1/28、2/24）委員会が開催された。 委員の構成は、副学長（自己点検・評価担当）、教学部長、各学部より選出された者1名、共通教育センターより選出された者1名、各事務部長、その他学長が必要と認めた者若干名 （平成27年度の委員構成は、教員6名と職員2名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート（実施・結果・分析結果）について ・ 授業公開（見学）について ・ FD研修会について ・ 当該年度の事業計画について ・ その他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート ・ 教員相互の授業参観 ・ シンポジウム形式によるFD研修会 ・ 外部講師によるFD研修会 ・ 体験型のFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートの実施 講義期間内に実施し、教員に結果をフィードバックし、それについての教員の意見及び改善が必要な場合の改善方策を提出させることで、早急な授業改善に繋げている。 結果についても、ポータルサイト等において教職員・学生に向けて公開している。 ・ 教員相互の授業参観 参加の機会を増やすために、原則として全授業公開として実施した。 終了後、授業の内容、教授方法等についての、参観者からのコメントを、「FD授業見学コメント集」として冊子にまとめ、授業改善に繋げている。
--

- ・シンポジウム形式によるFD研修会
学生の実態を把握するとともに、各パネリスト（教員・事務職員）から、課題や意見、問題提起がなされ、意見交換を実施。
- ・外部講師によるFD研修会
外部から招聘した適任者による講演会を実施。
- ・体験型のFD研修会
新しく設置した施設・設備等の教育的利用について、体験を主にした研修を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートの実施
年2回実施（全教員ひとり1科目を対象として実施。実施時期：6月29日～7月11日／11月30日～12月12日）
- ・教員相互の授業参観
年2回実施（6月8日から6月20日の間、11月9日から11月21日の間／専任教員の授業はすべて公開。）
- ・シンポジウム形式によるFD研修会
 - 2011年度 「相愛大学のFD活動の現状と課題－何が達成されたのか、何がさらに求められているのか－」（2012年2月15日開催）
 - 2012年度 「基礎学力テスト結果が示す相愛大生の現状とそれへの対策」（2012年6月28日開催）
 - 2013年度 「各学部における新しい授業方法の試み」（2014年2月19日開催）
 - 2014年度 「各学部における教育への取り組み－『大学基礎力調査』の結果を受けて－」（2014年10月24日開催）
 - 2015年度 「SA制度を試験的に導入してみよう－実施状況、問題点、改善策－」（2016年2月17日開催）
- ・外部講師によるFD研修会
研修会は2008年度から実施しており、各年度の開催内容は次の通り。（各回の参加者は、40～90名）
 - 2008年度 「大学全入時代の学生の傾向と対策」（2009年2月19日開催）
 - 2009年度 「学生の基礎学力をどう育成するか」（2010年2月22日開催）
 - 2010年度 「授業を通して学生の社会人基礎力をどう育成するか」（2011年2月16日開催）
 - 2011年度 「学生中心・学習重視の大学へアウトカムを重視した質保証システムの構築」（2011年6月16日開催）
 - 2011年度 「関西国際大学におけるアクティブ・ラーニングと学生メンター」（2011年10月24日開催）
 - 2012年度 「立命館大学における教学IR－教育改善とIRのリンケージ－」（2012年11月2日開催）
 - 2013年度 「『大学生基礎力調査Ⅰ』から考える本学1年生の現状と課題」（2013年8月1日開催）
 - 2013年度 「学力向上に向けて必要な教育改革と教職員の意識」（2013年9月26日開催）
 - 2014年度 「『大学生基礎力調査』から考える本学学生の現状と課題」（2014年7月31日開催）
 - 2015年度 「グローバル人材育成と英語教育－英語による教授法のポイントと課題－」（2015年4月27日開催）
 - 2015年度 「大学における学生生活の充実方策について－ピア・サポート・プログラム」（2015年12月10日開催）
- ・体験型のFD研修会
 - 2012年度 「学生時代にもどって、主体的学修を体験してみよう！－「ALPS」初公開－」（2013年2月20日開催）
 - 2014年度 「ICTとは？ 進化する教育法を学ぶ－新教室「コスモ・アイ」の活用に向けて－」（2015年2月18日開催）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートの結果を受けて、各教員に結果に対するコメント、改善の方法などを記述してもらい、並行して委員会において分析し取りまとめたものを、冊子にして刊行・配布すると共に、ポータルサイトに公開を行っている。FD委員会や各学部等において、改善の方途を組織的に検討している。
- ・教員相互の授業参観については、授業公開終了後に今後の改善に資するよう、担当者を含めた検討会を開いている。また、「FD授業見学コメント集」を作成し、改善につなげている。
- ・FD研修会については、終了後、参加者からコメントを求め、「FD研修会コメント集」として冊子を作成し、今後の教育改革に繋げている。
- ・全学的な取り組みについては一定の方式が定着し、積み上げられてきている。その結果、授業改善に効果がみられつつある。引き続き継続的に検証を加えると共に、綿密化を図りながら組織全体に行き渡らせるために、各学部でのFD活動の充実を図っていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施時期：6月29日～7月11日／11月30日～12月12日

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートの結果を受けて、各教員に結果に対するコメント、改善の方法などを記述してもらい、並行して委員会において分析し取りまとめたものを、冊子にして刊行・配布すると共に、ポータルサイトに公開を行っている（教員・学生共に閲覧が可能）。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙2)</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期</p> <ul style="list-style-type: none">・「響流(こうる)第5号」 平成28年3月公表・「自己点検評価委員会による評価報告」 ＜平成24年度(平成24年12月)、平成25年度(平成25年7月)、平成26年度(平成26年12月)＞ <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書「響流(こうる)」を刊行し、関係諸機関等に配布。 (刊行後、大学ホームページ上に公開)・「自己点検評価委員会による評価報告」は、年度ごとにホームページ上に公開 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成27年度に、日本高等教育評価機構において大学機関別認証評価を受け、「適合」の判定を受けた。・次回の認証評価の受審については、未定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ (<input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成28年 7月 末日)</p>
--

相愛大学FD委員会規程

平成27年5月14日一部改正

(設置)

第1条 相愛大学（以下「本学」という。）にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本学教員の教育研究活動の向上と能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、FDに関わる事項を審議する

(所管)

第3条 委員会は以下の事項を所管する。

- (1) FDの企画・立案に関する事
- (2) FDの実施計画と運営に関する事
- (3) FD活動に関わる情報の収集と提供
- (4) FDに関する広報活動
- (5) その他FDに関する事項

(構成)

第4条 委員会は次の者をもって構成する。

- (1) 副学長（自己点検・評価担当）
- (2) 教学部長
- (3) 各学部より選出された者1名
- (4) 共通教育センターより選出された者1名
- (5) 各事務部長
- (6) その他学長が必要と認めた者若干名

(委員長)

第5条 委員会を統括するために委員長を置く。

- 2 委員長は委員の中から学長が任命する。
- 3 委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 委員長は必要に応じて委員会を招集し、議長となる。

(任期)

第6条 第4条の委員の任期は次の通りとする。

- (1) 第4条第1号、2号、5号の委員の任期はその在任中とする。
- (2) 第4条第3号、4号、6号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(事務の所管)

第7条 委員会の事務は教学課が所管する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長が行う。

附則

この規程は、平成20年7月17日より施行する。

附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成27年5月14日から施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

○「人文学科」の設置の趣旨・目的

人文学部は、これまで、「文化」を基軸とした学部学科編成における、「文化」の専門教育を基本とした教育を行ってきた。しかし、今日のユニバーサル化と称される時代の本学部入学生にとって、学士課程教育における「文化」に関わる専門性の獲得や「文化」の抽象性の理解は相当に困難であり、それらを卒業後の進路に直結させることも容易ではないと判断し、この学科では、「学士力」の修得、ないしは将来の社会人としての生活を持続させるような能力の習得によって学士課程の質を保証し、キャリア支援を充実する教育体制の構築を目的とし設置することとした。具体的方策として、1学部1学科とし、大学志願時における入学志願者の専門分野選択を幅広くし、6つのコースに分かれる専門教育開始を2年次以降とするとともに、その専門教育も専門性を指標とした教育カリキュラムを設定しつつ、他コース科目の履修をより柔軟にして、総合的で広範な教育成果の獲得をめざすものとした。

○設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成27年9月に、人文学部内に「人文学部改革検討委員会」を立ち上げ、人文学部の学内容・方法のさらなる充実を図るための方策や、学生募集活動の対策検討のために、平成27年度内に計5回の会議を行った。そこでの決定事項を計画的に実施すべく、学部の改革を進めているところである。

教育課程等

本学の教育改革のために、全学もしくは各部局等で実施する特色ある事業に対して支援を行うことを目的として運営されている「教育改革経費」の平成27年度事業として、「主体的学修のためのSA試験的導入」が採択され、各学部等で実施している。人文学科では『社会人基礎力形成演習』『主体的学習法』の授業において、前年度に同授業を受講し主体的で活発な受講態度であった3回生の学生（各2名）が、経験をもとに授業運営・進行の手助けを行うなど、学生の主体的な学修を支援する取り組みが図られている。

同じく「教育改革経費」の事業として採択された「社会人基礎力の向上」を目的としたイベント「若者による若者のための『らくご、こわい！？』」では、大阪文化を専攻する3回生の学生を中心に、イベントをプロデュース・企画するなど、キャリア教育の取り組みの充実も図られている。

また、平成27年4月に英国立バンガー大学日本研究所と教育連携協定を締結したのをきっかけに、同大学教員等による遠隔授業（ディスタンスラーニング）を実施しており、語彙や文法、読解、ライティング等、総合的な英語力を伸ばすもののみならず、英語を使って「ビジネス論」や「メディア論」、「英文学」などのスペシャルサブジェクトを学ぶ課外

授業も行っている。

ここ数年の間に、授業形態の多様化が進み、施設に関する要望が多くなったことをうけ、学生の主体性・協調性・課題解決力などの伸長等に即した教室として整備すべく、一部改修等を行った。

学生募集・入学者選抜等

入学定員の未充足率への対策として、日本人学生への学生募集については、オープンキャンパスへの参加者増をめざすべく、学部内で「オープンキャンパス委員」を選出し、オープンキャンパスでの実施イベント等の見直しと充実に傾注した。また、更なる留学生の受入れをめざし、平成 28 年度の入学試験において、新たに、日本語学校長等の推薦による、「留学生推薦入学試験」の実施を決定し、その広報を兼ねて、日本語学校への訪問をこれまで以上に強化した。これらの結果、平成 28 年度入試における定員充足率は好転傾向にある（平成 27 年度 0.58、平成 28 年度 0.92）。

さらに、平成 27 年度から、学内において I R 活動の強化を図っていることから、取得した情報の分析を行い、効率の良い、有効な学生募集の取り組みを実施する一方、前述の「人文学部改革検討委員会」において、更なる改革のための取り組みを検討し、そこでの決定事項を計画的に実施すべく、学部の改革を進めていくこととしている。

なお、上記以外の事項については、ほぼ当初計画通りに運用がなされているが、次年度以降も、学年進行に従い、設置計画を確実に履行していきたいと考えている。